

大 分 市
「ごみ減量・リサイクル」及び「家庭ごみ有料化
制度3年の検証」に関する市民意識調査
報 告 書

平成29年5月

目 次

I 調査概要	1
II 調査結果	2
1 性別(問1)	2
2 年齢(問2)	2
3 家族人数(問3)	3
4 ごみの減量やリサイクルへの取り組みについて	4
(1)取り組み状況(問4)	4
(2)取り組み内容(問5)	6
(3)取り組んでいない理由(問6)	8
5 ごみ減量やリサイクルについて意識の変化(問7)	10
6 燃やせるごみとリサイクルできる紙の混在について(問8)	12
7 家庭ごみ有料化の対象となるごみについて(問9)	14
8 ボランティア専用袋について(問10)	16
9 負担軽減措置として指定ごみ袋の無料支給について(問11)	18
10 指定ごみ袋について	20
(1)指定ごみ袋の値段(問12-1)	20
(2)指定ごみ袋の種類(大きさ)(問12-2)	22
11 手数料収入の用途について(問)	24
(1)ごみステーション設置等補助金(問13-1)	24
(2)クリーン推進員報償金及びクリーン推進員校区連絡会議の活動経費の助成(問13-2)	26
(3)生ごみ処理機器の購入補助(問13-3)	28
(4)有価物集団回収(廃品回収)運動実施団体に対する報償金(問13-4)	30
(5)一般廃棄物処理施設の整備に要する経費に充てるための基金積み立て(問13-5)	32
(6)手数料収入の活用(問13-6)	34
12 指定ごみ袋取扱所について(問14)	36
13 不法投棄に対する取り組みについて(問15)	38
14 不適正排出 に対する取り組みについて(問16)	40
15 家庭ごみ有料化制度について(問17)	43

参考資料	45
参考 1 大分市と他都市の「燃やせるごみ」の袋の価格	45
参考 2 自治会が管理しているごみステーションへの設置等補助事業	45
参考 3 自治会が管理するごみステーション用被せネット等支給事業	45
参考 4 クリーン推進員報償金	45
参考 5 クリーン推進員校区連絡会議の活動経費の助成	45
参考 6 生ごみ処理機器の購入補助金	45
参考 7 有価物集団回収事業報償金	46
参考 8 大分市廃棄物処理施設整備基金積立額	46

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、今後のごみ減量・リサイクルの推進に係る施策の検討や家庭ごみ有料化制度の検証のための基礎資料とするために行うものです。

2 対象者と抽出方法

大分市内に居住する18歳以上の市民4,000人を、住民基本台帳から無作為に抽出しました。

3 調査方法

郵送調査法

4 調査時期

平成29年4月12日～平成29年5月8日

5 配布・回収状況

配布数 4,000票
有効回収数 1,618票
有効回答率 40.5%

6 調査結果の処理

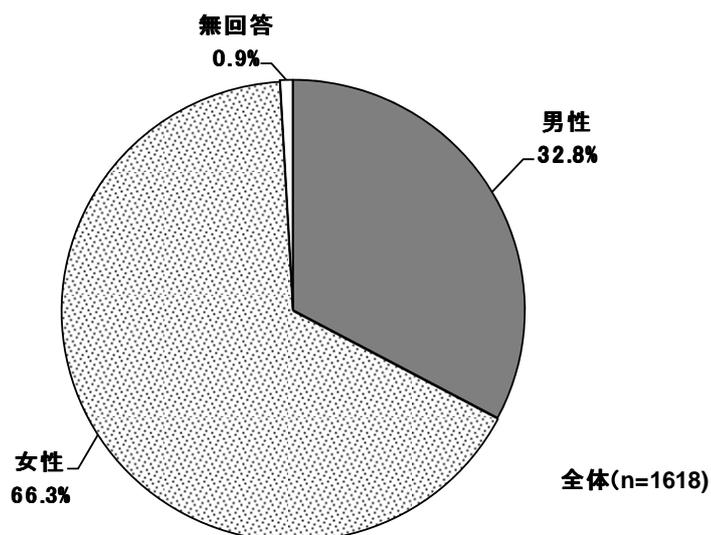
- 回答比率は、百分比の小数点第2位を四捨五入していますので、合計は必ずしも100%にならないことがあります。
- 2つ以上の回答を求めた（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超えます。
- 図に表示された「n」は、回答者数を示しています。

Ⅱ 調査結果

1 性別（問1）

性別をみると、「男性」が32.8%、「女性」が66.3%となっています。

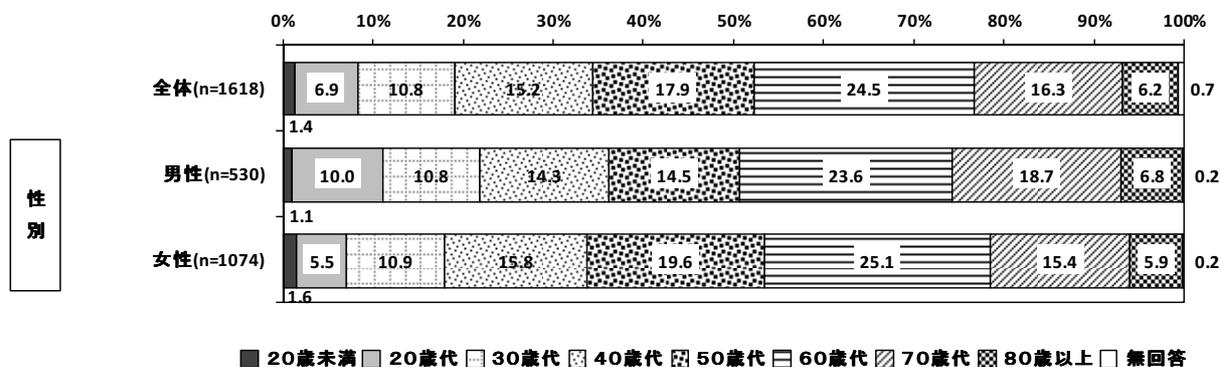
問1 あなたの性別についてお答えください。



2 年齢（問2）

年齢をみると、「20歳未満」が1.4%、「20歳代」が6.9%、「30歳代」10.8%、「40歳代」が15.2%、「50歳代」が17.9%、「60歳代」が24.5%、「70歳代」が16.3%、「80歳以上」が6.2%となっています。

問2 あなたの年齢についてお答えください。



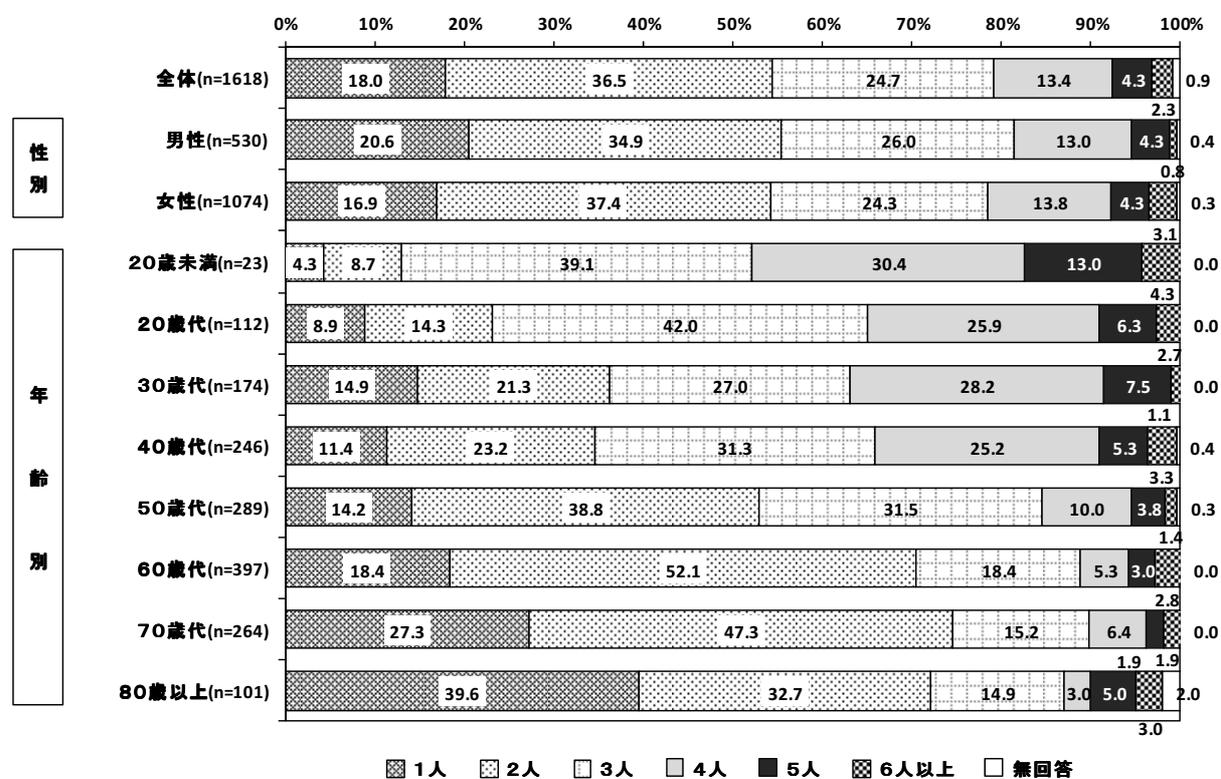
3 家族人数（問3）

家族人数を見ると、「1人」が18.0%、「2人」が36.5%、「3人」が24.7%、「4人」が13.4%、「5人」が4.3%、「6人以上」が2.3%となっています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「1人」は年齢が高いほど多く、80歳以上では39.6%となっています。

問3 あなたと同居している方の人数（あなたを含めて）についてお答えください。



4 ごみの減量やリサイクルへの取り組みについて

(1) 取り組み状況（問4）

ごみの減量やリサイクルの日頃の取り組みをみると、「日々取り組んでいる」は41.4%、「自分たちに負担がかからない範囲で取り組んでいる」が50.4%、合計した取り組み率は91.8%となっています。「意識はしているが、あまり取り組んでいない」は5.6%、「取り組んでいない」は1.7%となっています。

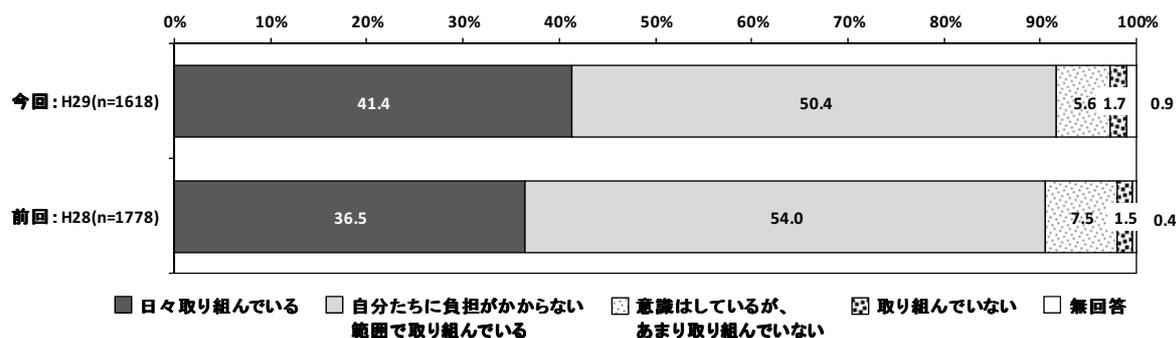
【前回調査（平成28年）からの変化】

- 「日々取り組んでいる」は36.5%から41.4%に4.9ポイント増加し、「自分たちに負担がかからない範囲で取り組んでいる」が54.0%から50.4%に3.6ポイント減少しましたが、合計の取り組み率は90.5%から91.8%、1.3ポイントの増加になっています。

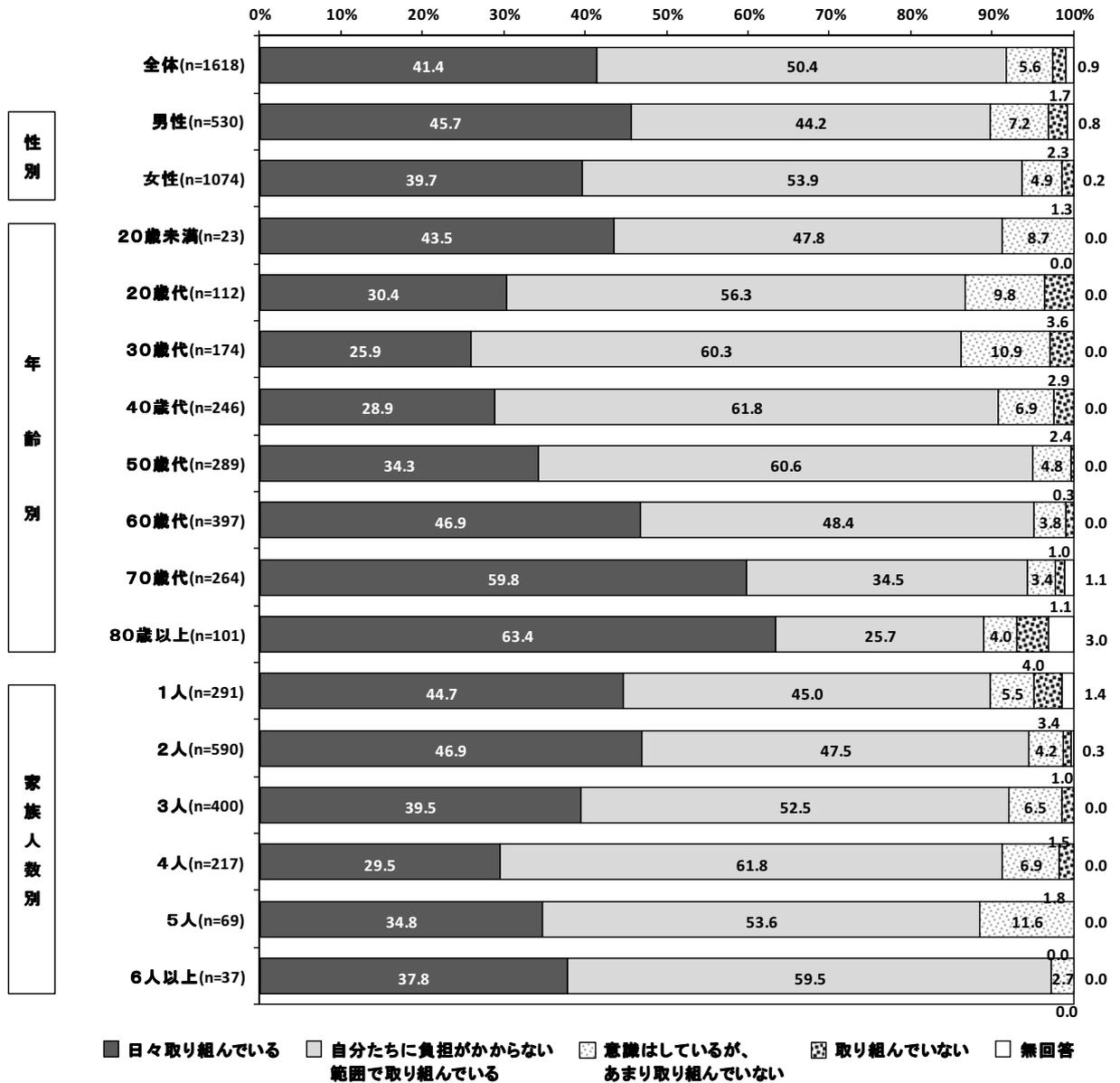
【属性別特徴】

- 性別にみると、「日々取り組んでいる」は男性が45.7%と女性（39.7%）より多くなっていますが、「自分たちに負担がかからない範囲で取り組んでいる」まで含めた取り組み率でみると、男性が89.9%、女性が93.6%と、女性の方が多くなっています。
- 年齢別にみると、20～50歳代にかけて「日々取り組んでいる」が20～30%台と少なくなっています。

問4 あなたやあなたと同居している家族は、日頃からごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。（○は1つ）



問4 あなたやあなたと同居している家族は、日頃からごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。(〇は1つ)



(2) 取り組み内容 (問5)

ごみ減量・リサイクルへの取り組み内容をみると、「資源物の分別」(87.2%)と「レジ袋の削減(マイバッグの持参)」(85.7%)の2つが80%を超えています。次いで「生ごみの水きり」(73.2%)、「料理を作りすぎず、作ったものは残さず食べる」(55.2%)、「無駄な食材はできるだけ購入しない」(46.5%)となっています。

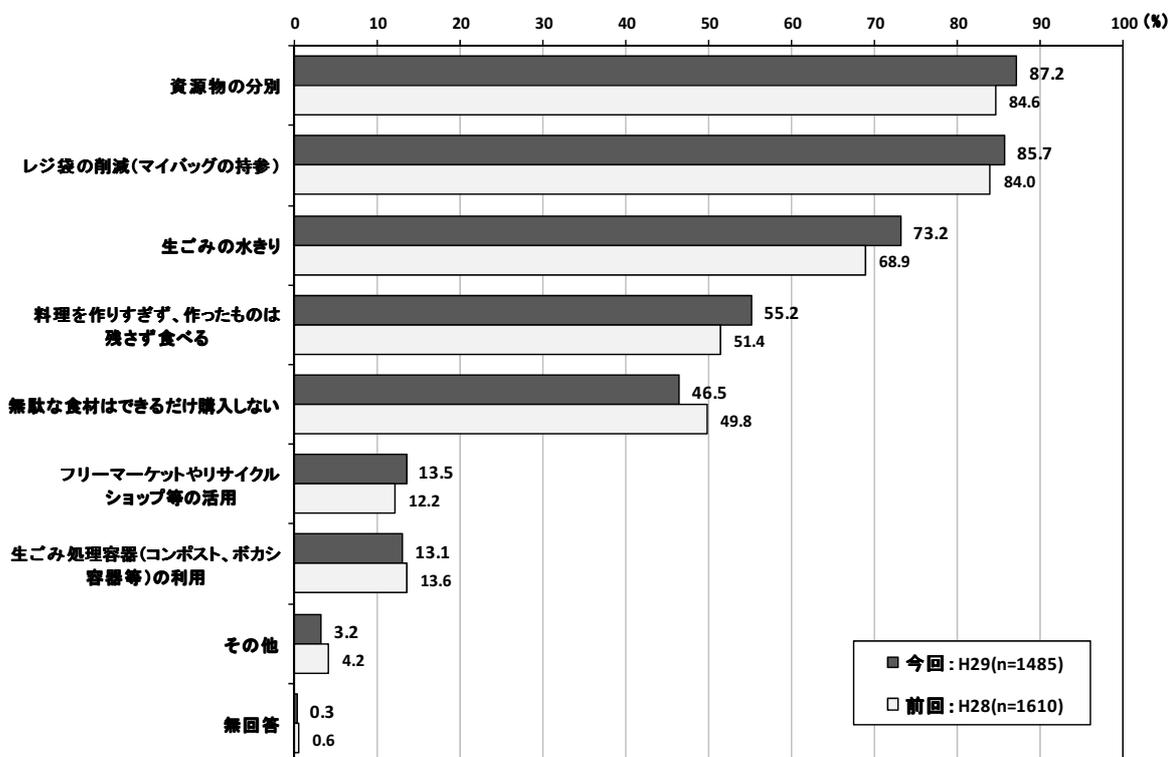
【前回調査(平成28年)からの変化】

- 前回とほぼ同様の結果となっていますが5項目において増加しており、ごみ減量・リサイクルの取組が徐々に浸透してきていると思われます。

【属性別特徴】

- 性別にみると、女性では「料理を作りすぎず、作ったものは残さず食べる」が58.1%と、男性(49.2%)を8.9ポイント上回っています。
- 年齢別にみると、「無駄な食材はできるだけ購入しない」は70歳代(52.2%)、80歳以上(57.8%)で半数を超えていますが、20歳未満(38.1%)、20歳代(33.0%)では30%台にとどまっています。

問5 問4で①または②と答えた方にお聞きします。あなたやあなたと同居している家族が、ごみ減量・リサイクルについて取り組んでいることはどれですか。(〇はいくつでも)



問5 問4で①または②と答えた方にお聞きします。あなたやあなたと同居している家族が、ごみ減量・リサイクルについて取り組んでいることはどれですか。(〇はいくつでも)

		サンプル数	生ごみの水きり	生ごみ処理容器(コンポスボカシ容器等)の利用	無駄な食材はできるだけ購入しない	料理を作りすぎず、作ったものは残さず食べる	レジ袋の削減(マイバッグの持参)	資源物の分別	フリートップケットの活用	その他	無回答
全体		1485 100.0	1087 73.2	195 13.1	690 46.5	819 55.2	1272 85.7	1295 87.2	200 13.5	47 3.2	4 0.3
性別	男性	476 100.0	318 66.8	70 14.7	203 42.6	234 49.2	366 76.9	399 83.8	47 9.9	14 2.9	1 0.2
	女性	1005 100.0	767 76.3	124 12.3	484 48.2	584 58.1	903 89.9	893 88.9	153 15.2	33 3.3	3 0.3
年齢別	20歳未満	21 100.0	12 57.1	2 9.5	8 38.1	8 38.1	20 95.2	19 90.5	3 14.3	1 4.8	-
	20歳代	97 100.0	69 71.1	7 7.2	32 33.0	54 55.7	88 90.7	84 86.6	19 19.6	1 1.0	-
	30歳代	150 100.0	91 60.7	11 7.3	62 41.3	82 54.7	127 84.7	130 86.7	33 22.0	5 3.3	-
	40歳代	223 100.0	143 64.1	17 7.6	102 45.7	123 55.2	183 82.1	201 90.1	41 18.4	6 2.7	1 0.4
	50歳代	274 100.0	210 76.6	31 11.3	124 45.3	160 58.4	232 84.7	246 89.8	40 14.6	10 3.6	-
	60歳代	378 100.0	291 77.0	64 16.9	179 47.4	212 56.1	343 90.7	341 90.2	34 9.0	13 3.4	-
	70歳代	249 100.0	200 80.3	48 19.3	130 52.2	124 49.8	210 84.3	198 79.5	22 8.8	8 3.2	2 0.8
	80歳以上	90 100.0	69 76.7	15 16.7	52 57.8	54 60.0	67 74.4	74 82.2	8 8.9	2 2.2	1 1.1
家族人数別	1人	261 100.0	173 66.3	28 10.7	146 55.9	139 53.3	210 80.5	198 75.9	21 8.0	4 1.5	1 0.4
	2人	557 100.0	430 77.2	86 15.4	270 48.5	325 58.3	492 88.3	495 88.9	55 9.9	22 3.9	1 0.2
	3人	368 100.0	276 75.0	47 12.8	152 41.3	201 54.6	317 86.1	334 90.8	62 16.8	13 3.5	1 0.3
	4人	198 100.0	137 69.2	18 9.1	77 38.9	96 48.5	171 86.4	174 87.9	45 22.7	5 2.5	1 0.5
	5人	61 100.0	39 63.9	8 13.1	28 45.9	35 57.4	47 77.0	55 90.2	8 13.1	1 1.6	-
	6人以上	36 100.0	28 77.8	8 22.2	14 38.9	20 55.6	33 91.7	35 97.2	9 25.0	2 5.6	-

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

「その他」の内容

- 廃品回収・リサイクルに回す(13)
- 生ごみは庭・畑に埋める(10)
- 小さな袋で出す・ごみを出さないようにする(5)
- コンポスト使用(3)
- エコ製品の購入
- ディスポーザー使用
- トレーに入った物はなるべく買わないようにしている
- リユースビン、詰め替え可能商品の利用
- 始めからごみになる物を家に入れない・買わない・もらわない・過度な包装をしない
- 出来るだけ自宅で燃やす
- 食材に限らず、物を買って過ぎない
- 食品トレイの洗浄分別
- 買物の際に簡易包装にしてもらう
- 必要以上に購入しない(食材以外)、包装を断る
- 物を処分し簡素な生活を目指している
- 補修、修理して使用している
- 落ち葉のコンポストによるリサイクル

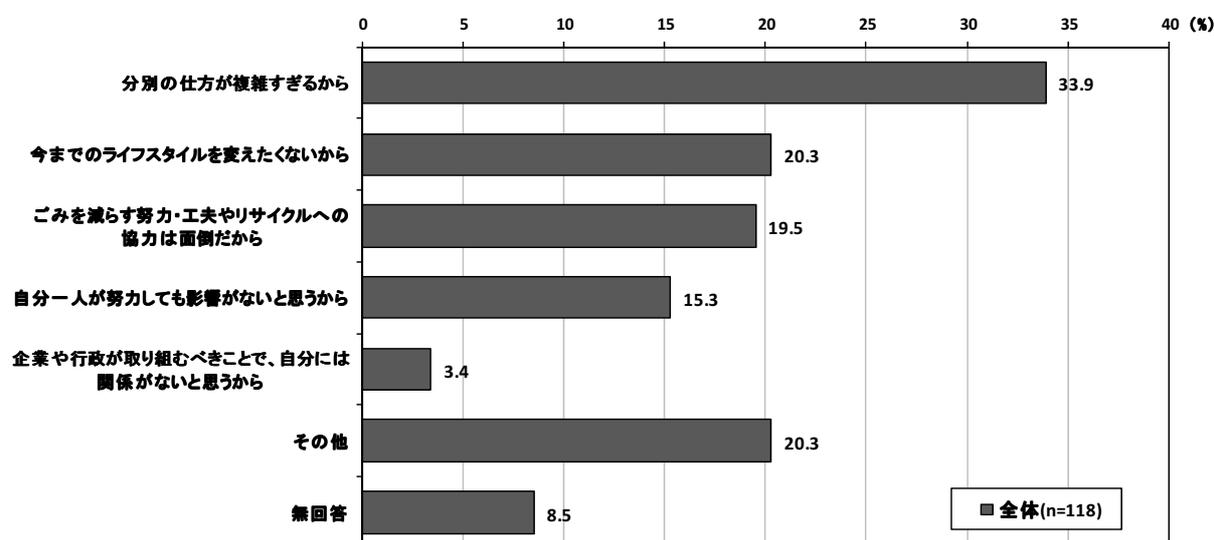
(3) 取り組んでいない理由 (問6)

ごみ減量・リサイクルに取り組んでいない理由としては、「分別の仕方が複雑すぎるから」が33.9%と最も多くなっています。次いで「今までのライフスタイルを変えたくないから」(20.3%)、「ごみを減らす努力・工夫やリサイクルへの協力は面倒だから」(19.5%)、「自分一人が努力しても影響がないと思うから」(15.3%)となっています。「企業や行政が取り組むべきことで、自分には関係がないと思うから」は3.4%と極めてわずかです。

【属性別特徴】

- 性別にみると、男女とも「分別の仕方が複雑すぎるから」が最も多くなっていますが、男性では、それに加えて「今までのライフスタイルを変えたくないから」(30.0%)も多くなっています。

問6 問4で③または④と答えた方にお聞きします。あなたやあなたと同居している家族が、ごみ減量・リサイクルについて取り組んでいないと答えた理由はどれですか。(〇はいくつでも)



「その他」の内容

- 意識していない(8)
- コンポストも試してみたが安定して続かなかった。年齢や同居人が少なくなると共にごみも減っている
- ビンの口のプラを取るのが大変。分解するのに時間がかかる
- プラの場合等、洗って乾燥させる手間が難しい時等、つい生ごみの所に入れてしまう
- リサイクルを意識しているが、最低限のごみしかでない
- ルール通りにやっているのに、それ以上何をすればいいのかわからない
- レジ袋を使わないとかリサイクルショップを活用しているが、取り組んでいるという意識があまりなかった
- 私自身はごみ減量を意識しているが、他の家族の意識が薄いため、この回答となった
- 主婦に任せきりにしているから
- 積極的に取り組んではいけないだけ
- 体が悪いから
- 店の過剰包装によるものがあまりにも多すぎる
- 普通の生活をしていると思っている

問6 問4で③または④と答えた方にお聞きします。あなたやあなたと同居している家族が、ごみ減量・リサイクルについて取り組んでいないと答えた理由はどれですか。(〇はいくつでも)

		サンプル数	ごみを減らす努力は面倒だからリサイクルへの協力は面	た今までのライフスタイルを変え	から、企業や行政が取り組むべきこと	自分一人が努力しても影響がないと思うから	別の仕方が複雑すぎるから	その他	無回答
全体		118 100.0	23 19.5	24 20.3	4 3.4	18 15.3	40 33.9	24 20.3	10 8.5
性別	男性	50 100.0	8 16.0	15 30.0	3 6.0	10 20.0	15 30.0	9 18.0	2 4.0
	女性	67 100.0	15 22.4	9 13.4	1 1.5	8 11.9	25 37.3	15 22.4	7 10.4
年齢別	20歳未満	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-
	20歳代	15 100.0	2 13.3	4 26.7	-	1 6.7	5 33.3	3 20.0	1 6.7
	30歳代	24 100.0	7 29.2	4 16.7	1 4.2	6 25.0	6 25.0	6 25.0	1 4.2
	40歳代	23 100.0	5 21.7	6 26.1	-	2 8.7	10 43.5	4 17.4	-
	50歳代	15 100.0	1 6.7	2 13.3	-	2 13.3	6 40.0	4 26.7	3 20.0
	60歳代	19 100.0	5 26.3	3 15.8	2 10.5	1 5.3	5 26.3	2 10.5	4 21.1
	70歳代	12 100.0	1 8.3	2 16.7	-	4 33.3	6 50.0	2 16.7	-
	80歳以上	8 100.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5
家族人数別	1人	26 100.0	1 3.8	7 26.9	2 7.7	4 15.4	9 34.6	5 19.2	2 7.7
	2人	31 100.0	7 22.6	6 19.4	1 3.2	2 6.5	11 35.5	4 12.9	4 12.9
	3人	32 100.0	7 21.9	7 21.9	1 3.1	5 15.6	12 37.5	9 28.1	2 6.3
	4人	19 100.0	4 21.1	3 15.8	-	5 26.3	6 31.6	3 15.8	2 10.5
	5人	8 100.0	3 37.5	-	-	2 25.0	2 25.0	2 25.0	-
	6人以上	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

5 ごみ減量やリサイクルについて意識の変化（問7）

家庭ごみ有料化の実施により、ごみ減量やリサイクルについて意識の変化があったかどうかをみると、「実施前は意識していなかったが、意識するようになった」が30.4%、「実施前から意識していたが、さらに意識するようになった」が43.1%、合計した意識変化率は73.5%となっています。「実施前から意識していたが、その意識に変化はない」は19.1%、「実施前も今も、特に意識していない」は6.0%、合計して25.1%、約4人に1人は意識に変化はみられません。

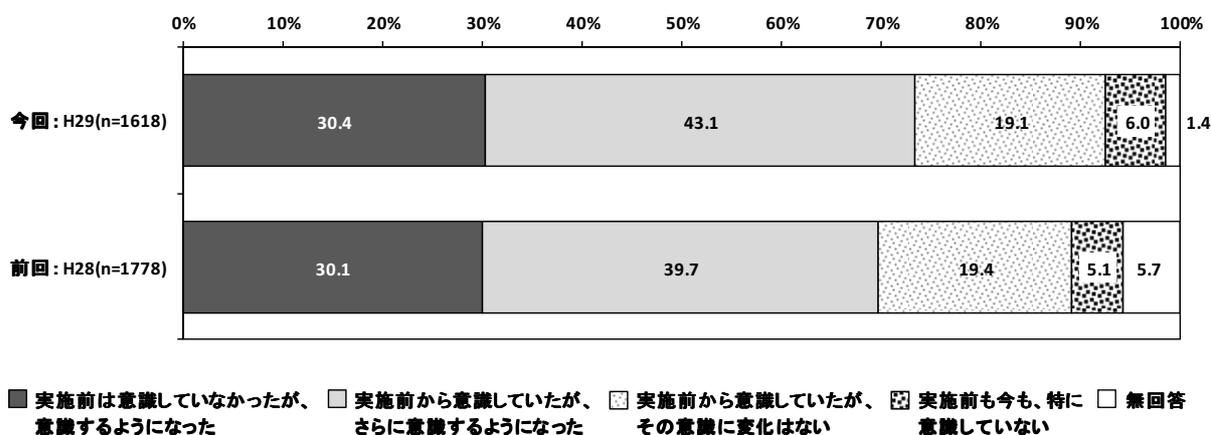
【前回調査（平成28年）からの変化】

- 「実施前は意識していなかったが、意識するようになった」は30.1%から30.4%へ0.3ポイント、「実施前から意識していたが、さらに意識するようになった」は39.7%から43.1%へ3.4ポイント増加したことから、合計した意識変化率は69.8%から73.5%に3.7ポイント増加しています。

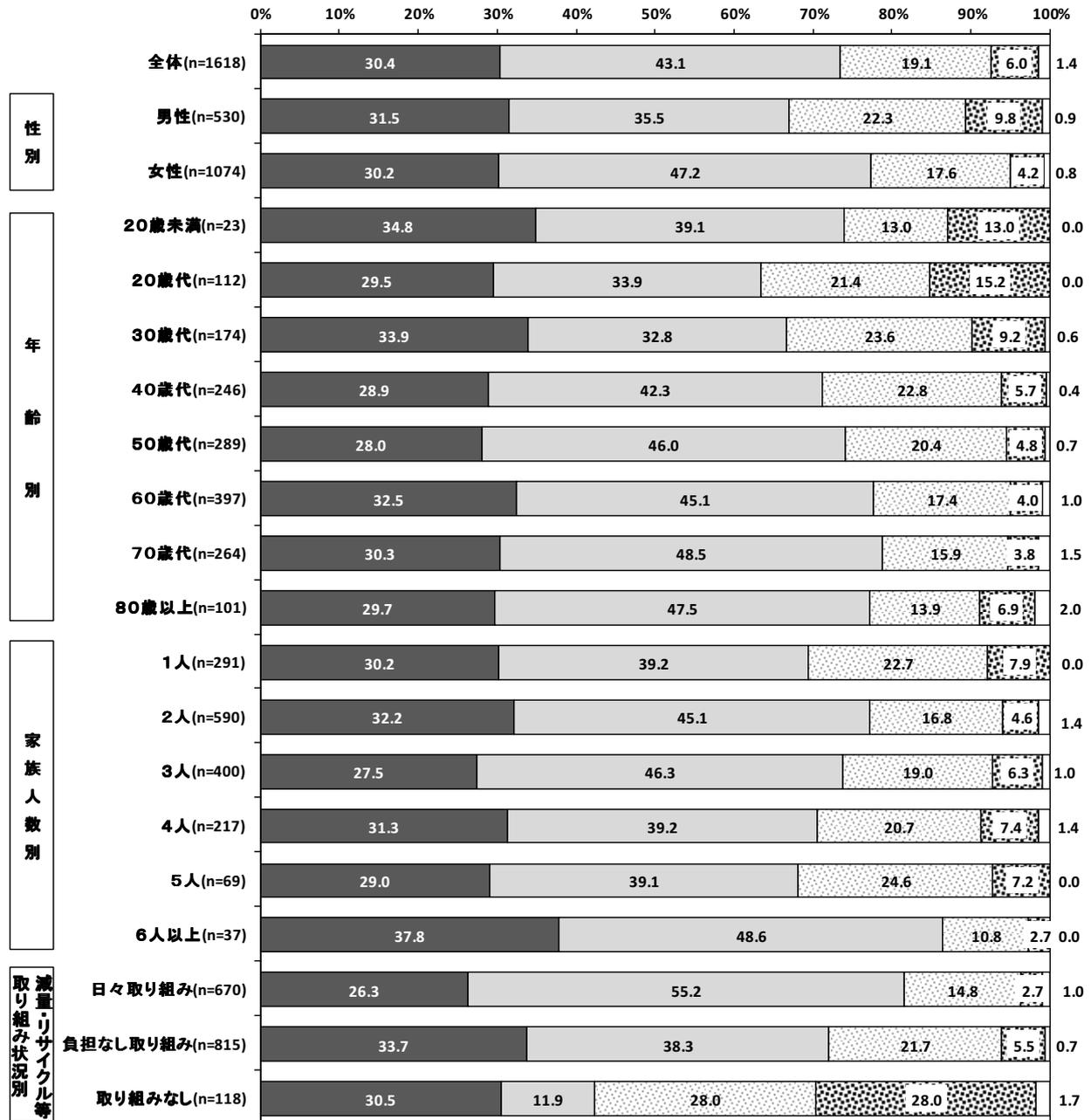
【属性別特徴】

- 性別にみると、女性で「実施前から意識していたが、さらに意識するようになった」が47.2%（男性35.5%）と多くなっています。
- 家族人数別にみると、6人以上で「実施前は意識していなかったが、意識するようになった」が37.8%と多くなっています。
- 減量・リサイクル等取り組み状況別にみると、日々取り組み層で「実施前から意識していたが、さらに意識するようになった」が55.2%と半数を超えています。また取り組みなし層では「実施前も今も、特に意識していない」が28.0%と多くなっています。

問7 あなたは、家庭ごみ有料化の実施により、ごみ減量やリサイクルについて意識の変化がありましたか。（○はひとつ）



問7 あなたは、家庭ごみ有料化の実施により、ごみ減量やリサイクルについて意識の変化がありましたか。(〇はひとつ)



■ 実施前は意識していなかったが、意識するようになった □ 実施前から意識していたが、さらに意識するようになった ▨ 実施前から意識していたが、その意識に変化はない ▩ 実施前も今も、特に意識していない □ 無回答

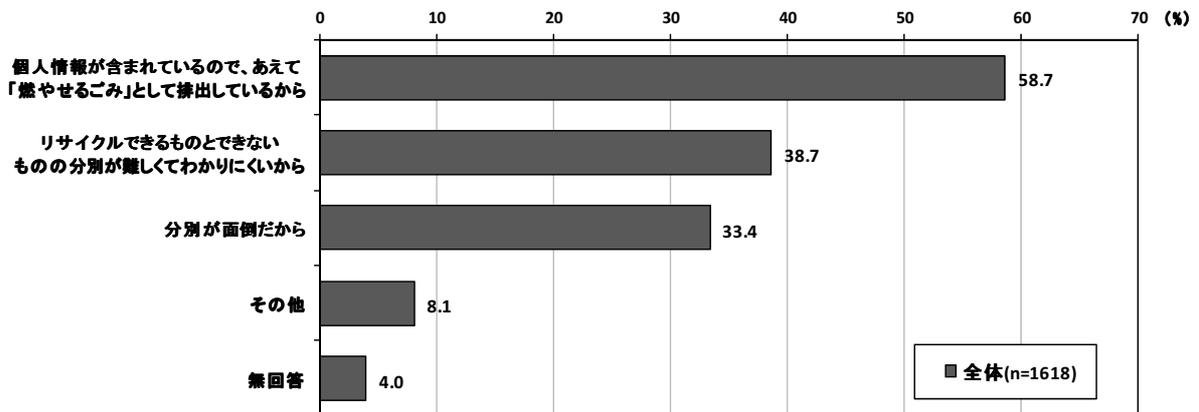
6 燃やせるごみとリサイクルできる紙の混在について（問8）

「燃やせるごみ」の中には依然としてリサイクルできる紙が混在している原因としては、「個人情報が含まれているので、あえて「燃やせるごみ」として排出しているから」が 58.7%と最も多くなっています。次いで「リサイクルできるものとできないものの分別が難しくてわかりにくいから」が 38.7%、「分別が面倒だから」が 33.4%となっています。

【属性別特徴】

- 性別にみると、男性では「リサイクルできるものとできないものの分別が難しくてわかりにくいから」が 44.3%と多くなっています。
- 年齢別にみると、「リサイクルできるものとできないものの分別が難しくてわかりにくいから」は 20 歳未満（69.6%）、20 歳代（52.7%）では半数を超えています。
- 減量・リサイクル等取り組み状況別にみると、取り組みなし層では、「個人情報が含まれているので、あえて「燃やせるごみ」として排出しているから」「リサイクルできるものとできないものの分別が難しくてわかりにくいから」「分別が面倒だから」の3つが 40～42%で並んでいます。

問8 紙類の分別についてお聞きします。「燃やせるごみ」の中には依然としてリサイクルできる紙が混在していますが、それは、何が原因と考えられますか。（〇はいくつでも）



「その他」の内容

- テープ、ホッチキス、汚れ等余分なものがついている(26)
- 紙類の回収日がない・頻度が少ない(14) ● 紙はおいておくとかさばる(13) ● 個人情報がある(12)
- 分類基準がわからない(11) ● 他のごみの処理(生ごみをつつむ、汚れを拭く等)に使う(7)
- 個人の意識の問題(これくらいはいい、意識なし等)(8) ● 量が少ないので燃やせるごみに入れる(3)
- リサイクルごみを出す場所が遠い(2) ● 紙も入れないとごみが燃えにくいと聞いた(2)
- A4以下の紙は梱包しにくいから
- ごみの分別が全体的に複雑であり共働き世帯などでは、対応出来る限度を超えている
- ごみ収集場所にリサイクル専用のカゴかBOXがあればよい
- 牛乳紙パック等、洗浄して出さなければならない事が面倒になるのではないかな
- 紙類を含め分別する事は理想であるが、分別するには労力・時間・空間・気力・体力が必要
- 他県から来られた方は前の県での出し方をどうしても慣れるまでしているように思う
- 多分、知らない人がいるのではないかな
- 燃やすごみが少ないので困っていると聞いた
- 燃やせるごみに捨ててもよいという認識があるから
- 分別が難しいというより紙は燃やせるごみだと思っている人が多いのではないかな

問8 紙類の分別についてお聞きします。「燃やせるごみ」の中には依然としてリサイクルできる紙が混在していますが、それは、何が原因と考えられますか。(〇はいくつでも)

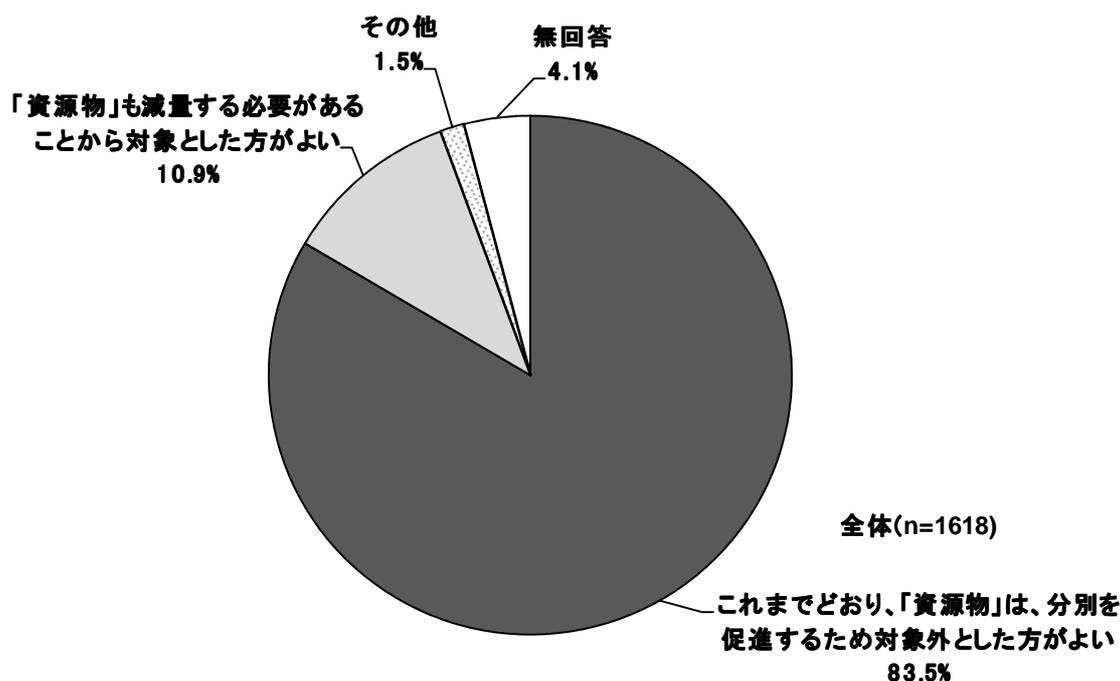
	サンプル数	かなりサイクルの分別が難しいとでき	分別が面倒だから	とで、個人情としてあえ排報出して「燃やせるごみ」	その他	無回答	
全体	1618 100.0	626 38.7	540 33.4	949 58.7	131 8.1	64 4.0	
性別	男性	530 100.0	235 44.3	176 33.2	277 52.3	35 6.6	19 3.6
	女性	1074 100.0	390 36.3	360 33.5	671 62.5	96 8.9	36 3.4
年齢別	20歳未満	23 100.0	16 69.6	10 43.5	9 39.1	3 13.0	- -
	20歳代	112 100.0	59 52.7	54 48.2	59 52.7	11 9.8	1 0.9
	30歳代	174 100.0	75 43.1	77 44.3	96 55.2	14 8.0	3 1.7
	40歳代	246 100.0	107 43.5	104 42.3	148 60.2	21 8.5	4 1.6
	50歳代	289 100.0	113 39.1	115 39.8	173 59.9	22 7.6	5 1.7
	60歳代	397 100.0	136 34.3	124 31.2	260 65.5	28 7.1	7 1.8
	70歳代	264 100.0	85 32.2	34 12.9	157 59.5	26 9.8	20 7.6
	80歳以上	101 100.0	33 32.7	21 20.8	45 44.6	6 5.9	15 14.9
家族人数別	1人	291 100.0	111 38.1	95 32.6	154 52.9	17 5.8	13 4.5
	2人	590 100.0	219 37.1	188 31.9	349 59.2	55 9.3	23 3.9
	3人	400 100.0	162 40.5	136 34.0	235 58.8	36 9.0	13 3.3
	4人	217 100.0	94 43.3	85 39.2	140 64.5	15 6.9	4 1.8
	5人	69 100.0	29 42.0	26 37.7	41 59.4	3 4.3	1 1.4
	6人以上	37 100.0	9 24.3	9 24.3	26 70.3	4 10.8	2 5.4
等減量・取り組み状況	日々取り組み	670 100.0	232 34.6	180 26.9	395 59.0	55 8.2	44 6.6
	負担なし取り組み	815 100.0	341 41.8	311 38.2	502 61.6	66 8.1	8 1.0
	取り組みなし	118 100.0	50 42.4	48 40.7	49 41.5	10 8.5	3 2.5

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

7 家庭ごみ有料化の対象となるごみについて（問9）

家庭ごみ有料化の対象となるごみについてみると、「これまでどおり、「資源物」は、分別を促進するため対象外とした方がよい」が 83.5%と圧倒的に多くなっています。「資源物」も減量する必要があることから対象とした方がよい」は 10.9%となっています。

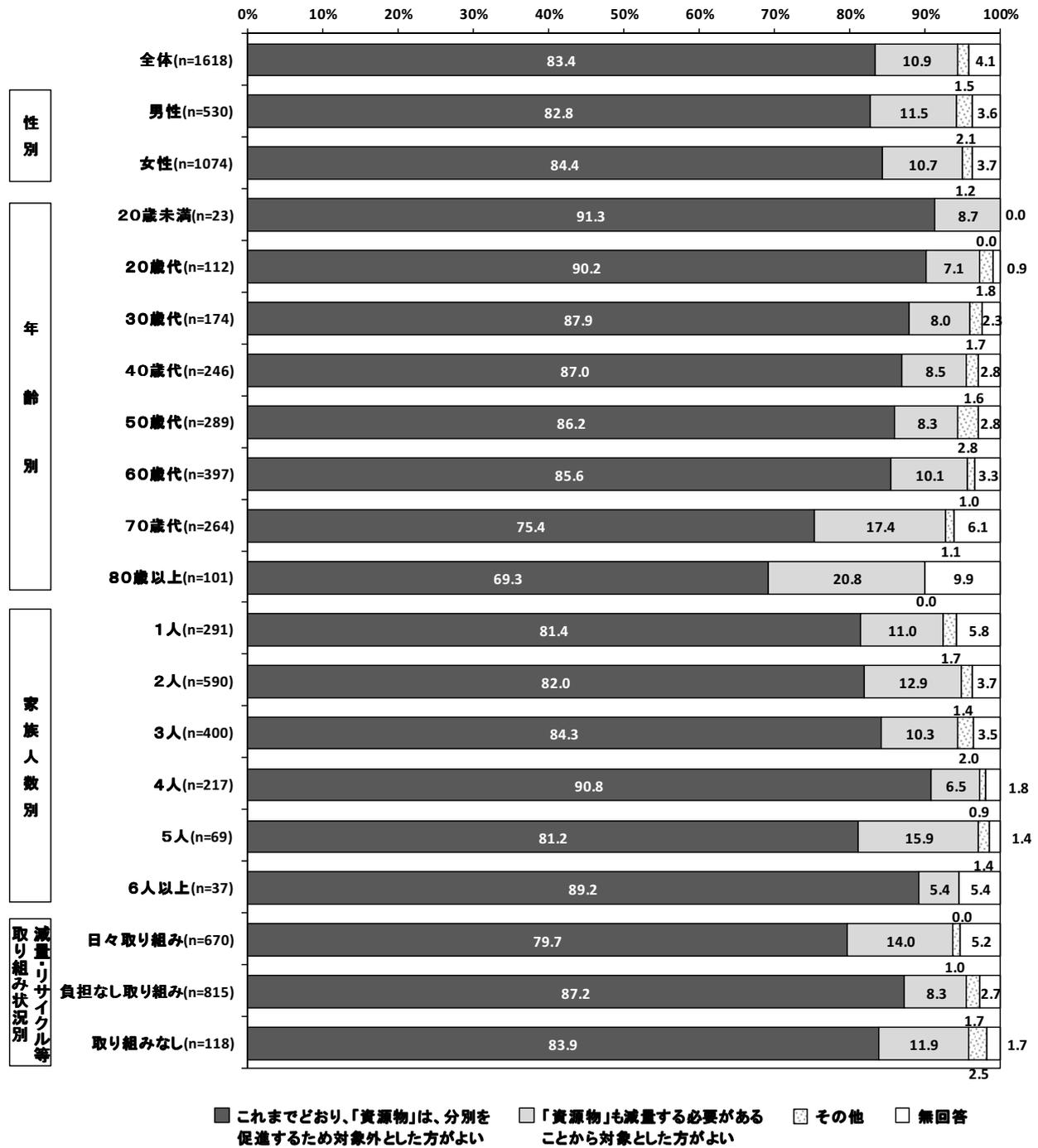
問9 家庭ごみ有料化の対象となるごみについてお答えください。（○はひとつ）



「その他」の内容

- それでメリットがあるのかが分からない。人件費などを考えたら無駄なのは。これだけのメリットがあると市民に伝えないと誰も協力しない
- ただのごみと資源物の分別が本当に分からないし有料袋に入れれば処分してくれると思っている。その袋に缶やビンは絶対入れない
- 汚れていないプラだけ資源プラにするとよい
- 家庭ごみ有料化がごみの減量になるとは思えない。ごみ分別・減量するにはごみ袋に自分の名前を書くべきだ。これを個人情報うんぬんとするのは筋違い
- 減量がこの目標であったと思う。資源物は有効活用が必要でしょう。有効については今後無料にするべきと思う。減量については常にPRするとよい
- 減量を意識してもらうために必要ではあると思うが、段階的に実施した方がよい
- 個人の意見以前に商品の販売から考えること。資源物の大半は商品購入時に発生する物でこれを考えないと資源物の減量は不可能である
- 資源プラのみ有料化すべき
- 消費の最終手段の出口をふさぐと消費が落ち込まないか心配
- 全て有料化したらよいと思います。その代わりに今まで市が回収しない物もしてほしい
- 不燃物の中には鉄やアルミ製品がある。これらは無料としてよい
- 不燃物有料化の検討をしてほしい、入る袋がない
- 分別するのが面倒、一緒にして有料にしてもよい
- 有料化には反対
- 利便性が優先される以上、どんな事をして資源物の減量にはならない。缶・ペットボトルの生産販売を禁止してビンを有償化、現金取引していた昭和 50 年代に戻せばよい

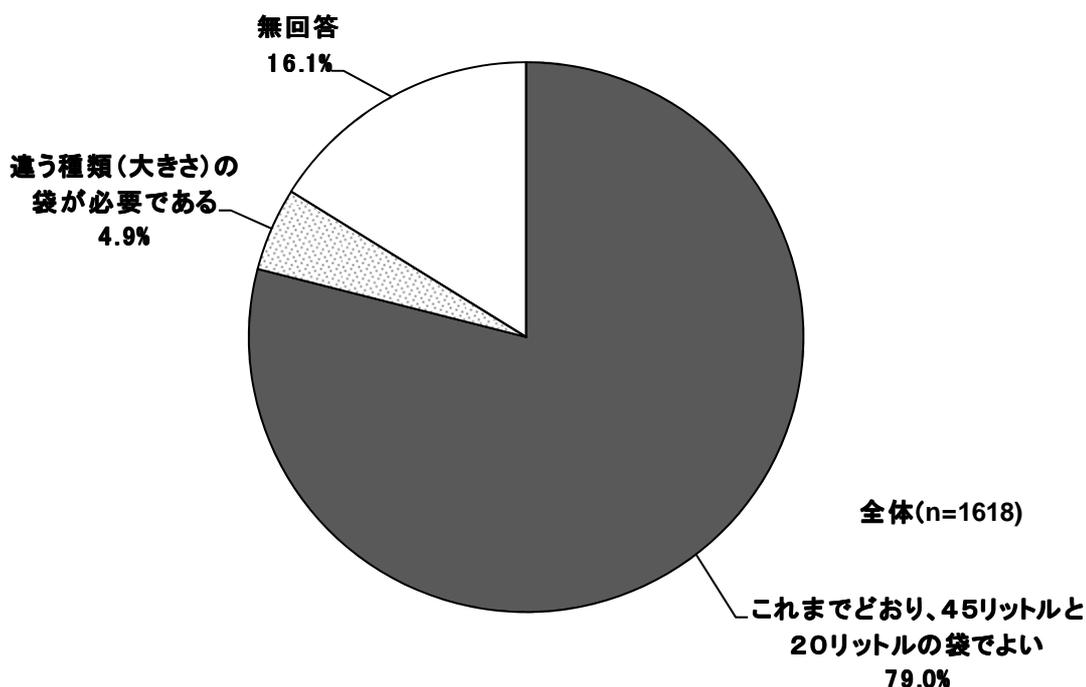
問9 家庭ごみ有料化の対象となるごみについてお答えください。(〇はひとつ)



8 ボランティア専用袋について（問10）

ボランティア専用袋についてみると、「これまでどおり、45リットルと20リットルの袋でよい」が79.0%と圧倒的に多くなっています。「違う種類（大きさ）の袋が必要である」は4.9%にとどまっています。

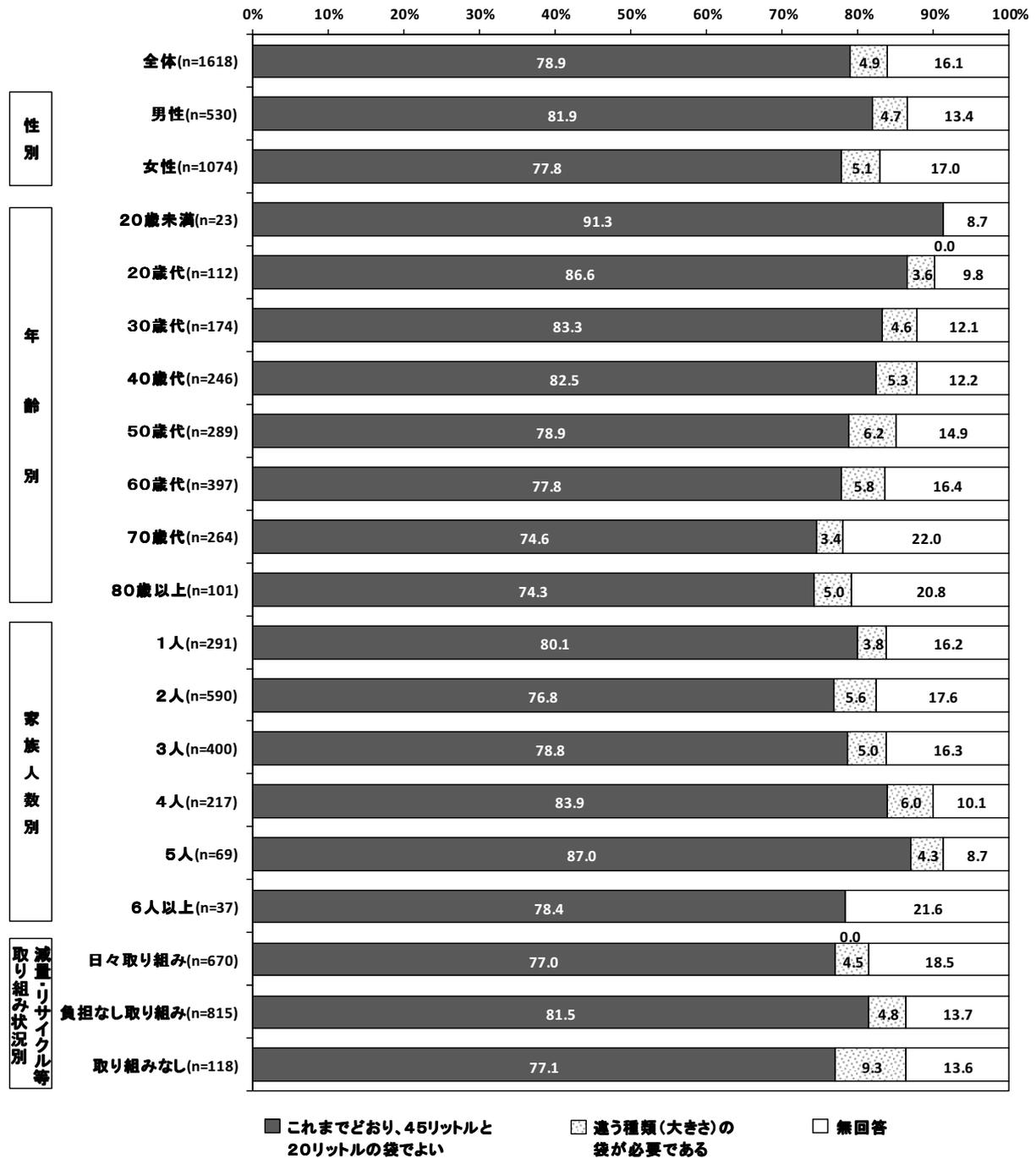
問10 地域の美化活動によって出たボランティアごみについては、市民の皆様の美化活動の妨げにならないよう、専用のごみ袋を無料で支給しています。ボランティア専用袋についてお答えください。（〇はひとつ）



「違う種類（大きさ）の袋が必要である」の内容

● 小さな袋(9)	● ごみ袋よりお金がかからなければ、何の袋でもシールか何かで分かるようにすればよいのでは？安い方よい
● 5リットル(4)	● どんな袋でもよい、シールを貼る
● 10リットル(11)	● 何種類かあった方が無駄にならない
● 30リットル(4)	● 雑草などを入れるため大きめがよい、丈夫なもの
● 60リットル(2)	● 少し厚めの袋
● 70リットル(6)	● 専用の袋を用いない方法を考えるべき、袋を作ることがごみを生んでいる
● 75リットル(1)	● 袋に入りきれない物が捨ててある
● 90リットル(6)	● 大きな袋にスカスカの状態で見つけたことがあるから
	● 地区でのごみ拾いに使用出来るよう小さいサイズがあれば助かる
	● 地区の清掃時、公園などに本や缶・ビン・ペットボトルが落ちているため、それ用に小袋があると助かる
	● 中身が見える袋なら何でもよい
	● 排水路のヘドロを入れるのに薄くて破ける
	● 美化活動について、たまには大きな葉っぱ等があるのでは
	● 有料ごみと同等

問10 地域の美化活動によって出たボランティアごみについては、市民の皆様の美化活動の妨げにならないよう、専用のごみ袋を無料で支給しています。ボランティア専用袋についてお答えください。(〇はひとつ)



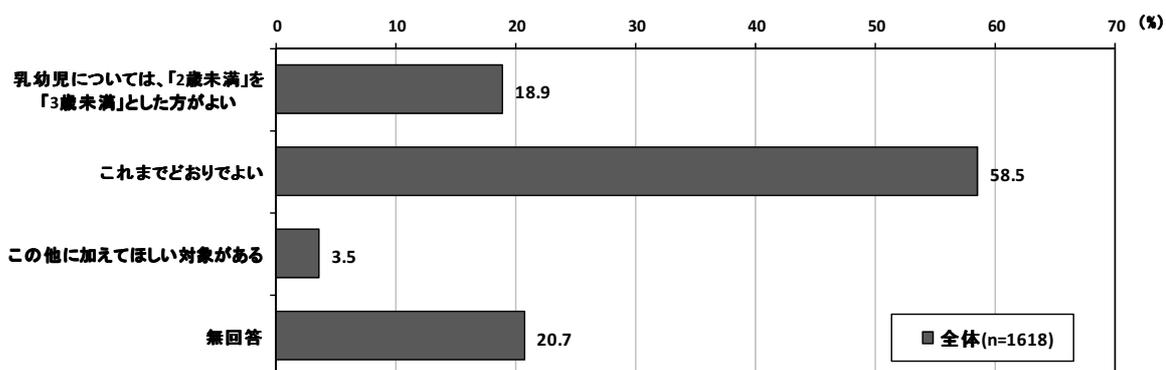
9 負担軽減措置として指定ごみ袋の無料支給について（問11）

負担軽減措置としての一定枚数の指定ごみ袋無料支給については、「これまでどおりでよい」が58.5%と圧倒的に多くなっています。「乳幼児については、「2歳未満」を「3歳未満」とした方がよい」は18.9%となっています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30歳代では「乳幼児については、「2歳未満」を「3歳未満」とした方がよい」が40.8%と、「これまでどおりでよい」（44.3%）と2分しています。

問11 ご家族に紙おむつやストマ用装具等を使用する方がいてごみを減量することが困難な世帯や、生活保護受給世帯に対して、負担軽減措置として一定枚数の指定ごみ袋を無料で支給しています。負担軽減措置の対象者についてお答えください。（〇はいくつでも）



「この他に加えてほしい対象がある」の内容

- 高齢者・要介護者(14)
- 全世帯(3)
- 市民税非課税の世帯・低所得者(3)
- 月10万以内で生活している人(生活保護者よりも収入の低い人)
- 高齢者(90才以上)の一人暮らし
- 高齢者の一人暮らし
- 高齢者、障害者、できればペットがいる世帯
- 高齢者・乳幼児がいる家庭ばかりサービスが良すぎる
- 高齢者のみで生活している世帯(年金生活)・年金収入のみ世帯
- 障害がある方がいる世帯も一定枚数無料支給がよいと思う
- 少額年金者
- 障害年金受給者
- 年金だけで生活している人

問11 ご家族に紙おむつやストマ用装具等を使用する方がいてごみを減量することが困難な世帯や、生活保護受給世帯に対して、負担軽減措置として一定枚数の指定ごみ袋を無料で支給しています。負担軽減措置の対象者についてお答えください。(〇はいくつでも)

		サンプル数	「乳幼児に「未満」としてよい方がよい」	「これまでどおりでよい」	「この他に「対象がある」を加えてほしい」	無回答
全体		1618 100.0	306 18.9	946 58.5	56 3.5	335 20.7
性別	男性	530 100.0	94 17.7	327 61.7	12 2.3	104 19.6
	女性	1074 100.0	212 19.7	614 57.2	44 4.1	222 20.7
年齢別	20歳未満	23 100.0	5 21.7	16 69.6	- -	2 8.7
	20歳代	112 100.0	24 21.4	76 67.9	4 3.6	10 8.9
	30歳代	174 100.0	71 40.8	77 44.3	11 6.3	22 12.6
	40歳代	246 100.0	46 18.7	156 63.4	14 5.7	34 13.8
	50歳代	289 100.0	61 21.1	174 60.2	7 2.4	48 16.6
	60歳代	397 100.0	65 16.4	233 58.7	10 2.5	94 23.7
	70歳代	264 100.0	23 8.7	157 59.5	6 2.3	84 31.8
	80歳以上	101 100.0	11 10.9	55 54.5	4 4.0	31 30.7
家族人数別	1人	291 100.0	38 13.1	186 63.9	9 3.1	59 20.3
	2人	590 100.0	106 18.0	337 57.1	17 2.9	144 24.4
	3人	400 100.0	83 20.8	234 58.5	14 3.5	75 18.8
	4人	217 100.0	54 24.9	123 56.7	11 5.1	31 14.3
	5人	69 100.0	17 24.6	41 59.4	5 7.2	8 11.6
	6人以上	37 100.0	8 21.6	20 54.1	- -	9 24.3
	等減り・組み状況	日々取り組み	670 100.0	109 16.3	397 59.3	18 2.7
負担なし取り組み		815 100.0	165 20.2	482 59.1	33 4.0	148 18.2
取り組みなし		118 100.0	32 27.1	62 52.5	5 4.2	22 18.6

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

10 指定ごみ袋について

(1) 指定ごみ袋の値段（問12-1）

指定ごみ袋の値段については、「ちょうどよいと思う」が 47.2%とほぼ半数を占めています。「高いと思う」は 29.1%、「安いと思う」は 1.1%、「わからない」は 11.4%となっています。

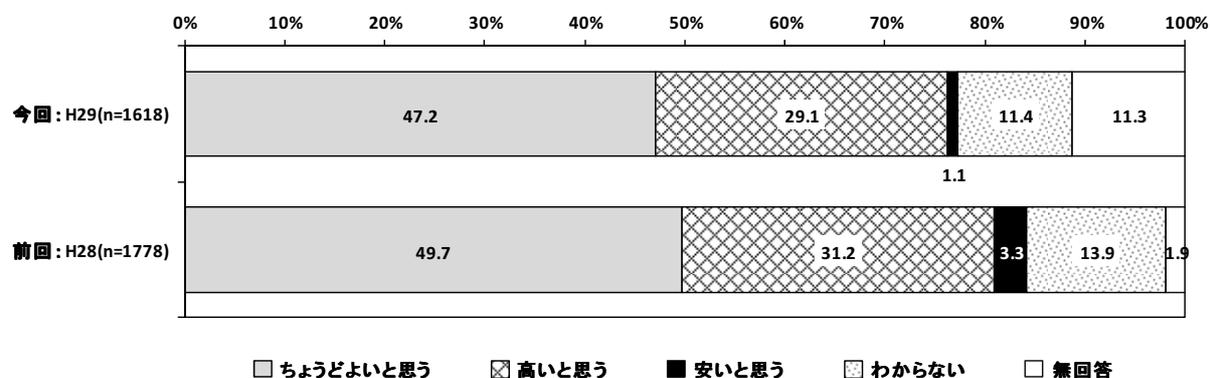
【前回調査（平成 28 年）からの変化】

- 「ちょうどよいと思う」は 49.7%から 47.2%に 2.5 ポイント減少し、「高いと思う」も 31.2%から 29.1%に 2.1 ポイント減少しています。

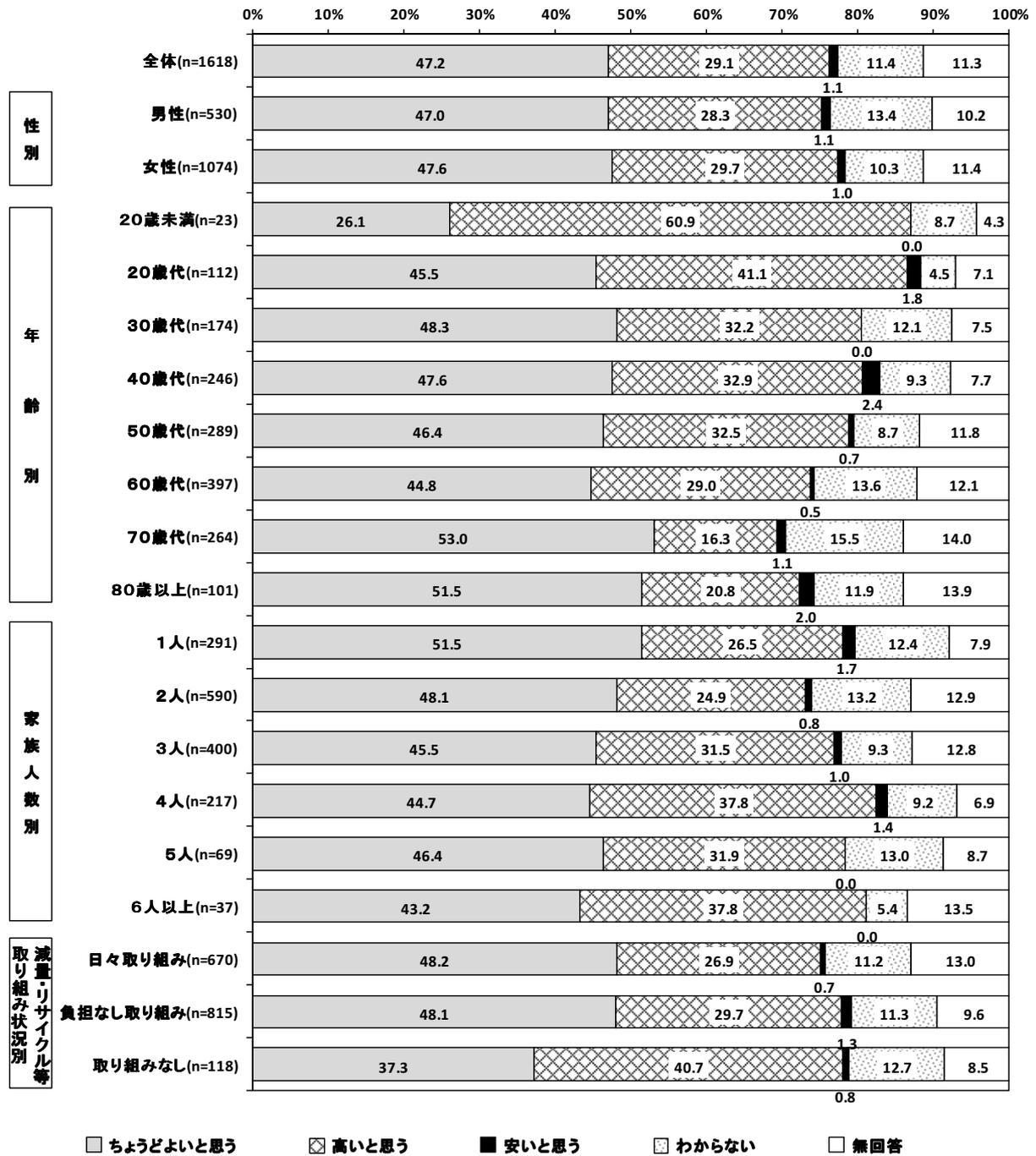
【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「高いと思う」は年齢が低いほど多くなっており、20 歳未満では 60.9%、20 歳代では 41.1%となっています。
- 減量・リサイクル等取り組み状況別にみると、取り組みなし層では「高いと思う」が 40.7%と多くなっています。

問12-1 あなたは指定ごみ袋の値段についてどう思いますか。（〇は1つ）



問12-1 あなたは指定ごみ袋の値段についてどう思いますか。(〇は1つ)



(2) 指定ごみ袋の種類（大きさ）（問12-2）

指定ごみ袋の種類（大きさ）についてみると、「今のままでよい」が75.3%と圧倒的に多くなっています。「変えた方がよい」は7.2%、「どちらでもよい」は6.9%となっています。

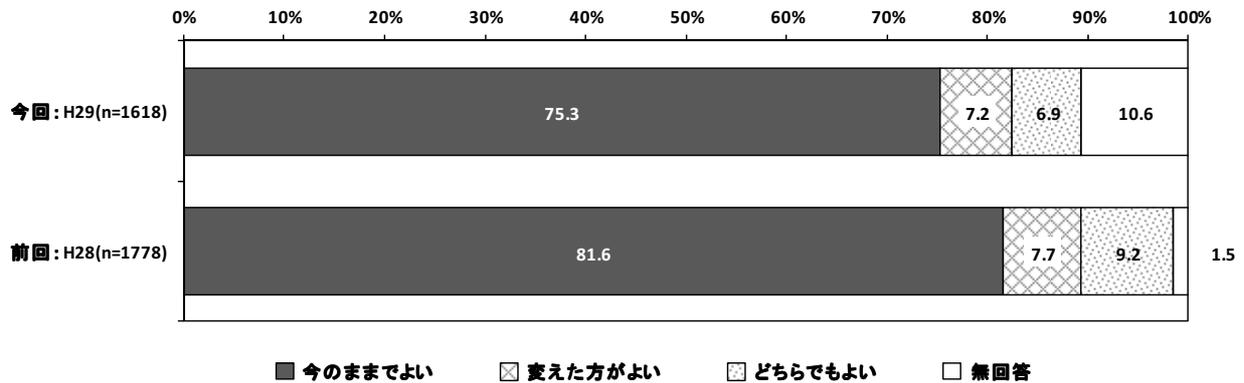
【前回調査（平成28年）からの変化】

- 「今のままでよい」は81.6%から75.3%に6.3ポイント減少、「変えた方がよい」も7.7%から7.2%に0.5ポイント減少しています。

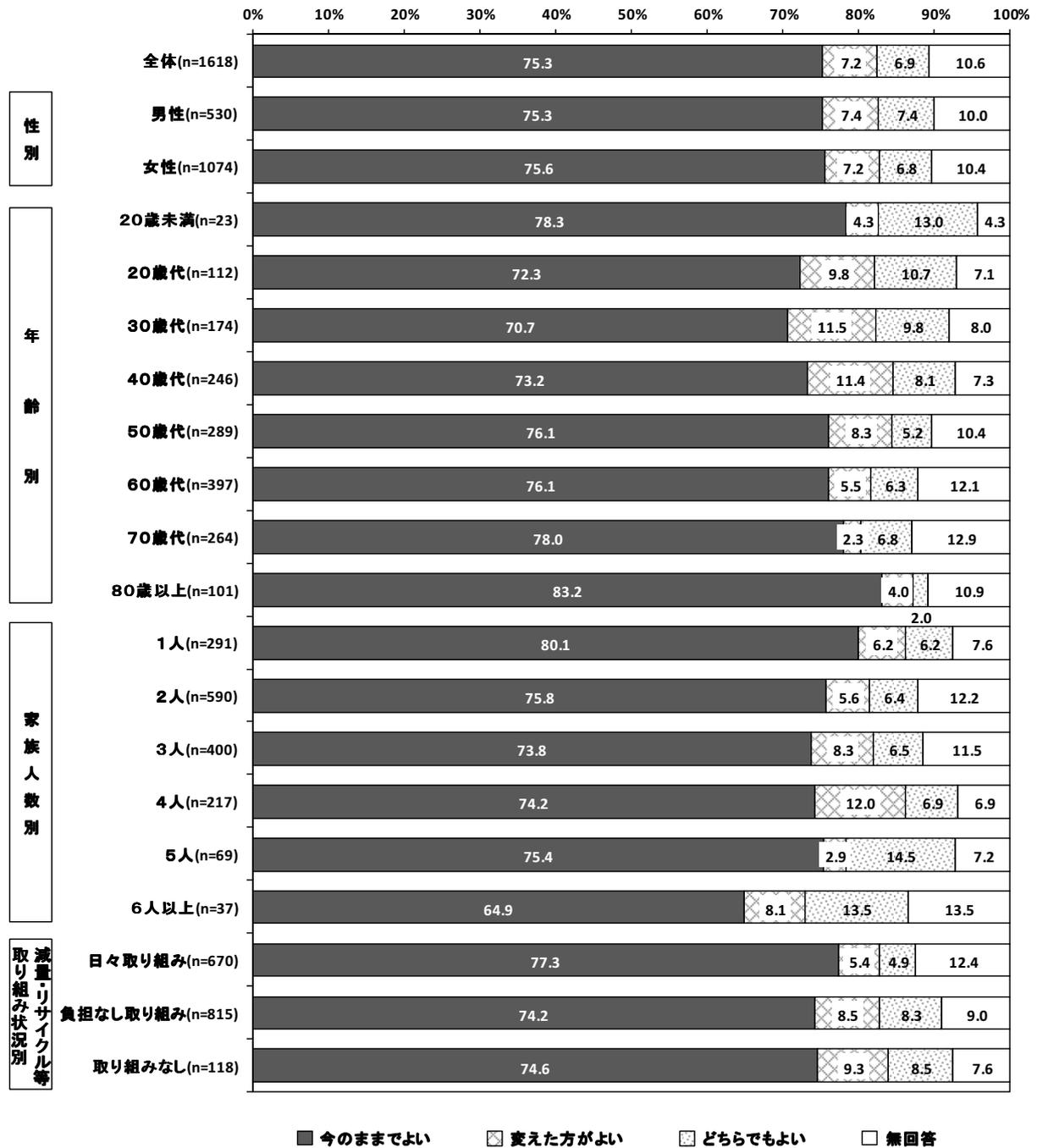
【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「変えた方がよい」は30歳代（11.5%）、40歳代（11.4%）で10%を超えています。

問12-2 指定ごみ袋の種類（大きさ）についてどう思いますか。（〇は1つ）



問12-2 指定ごみ袋の種類（大きさ）についてどう思いますか。（〇は1つ）

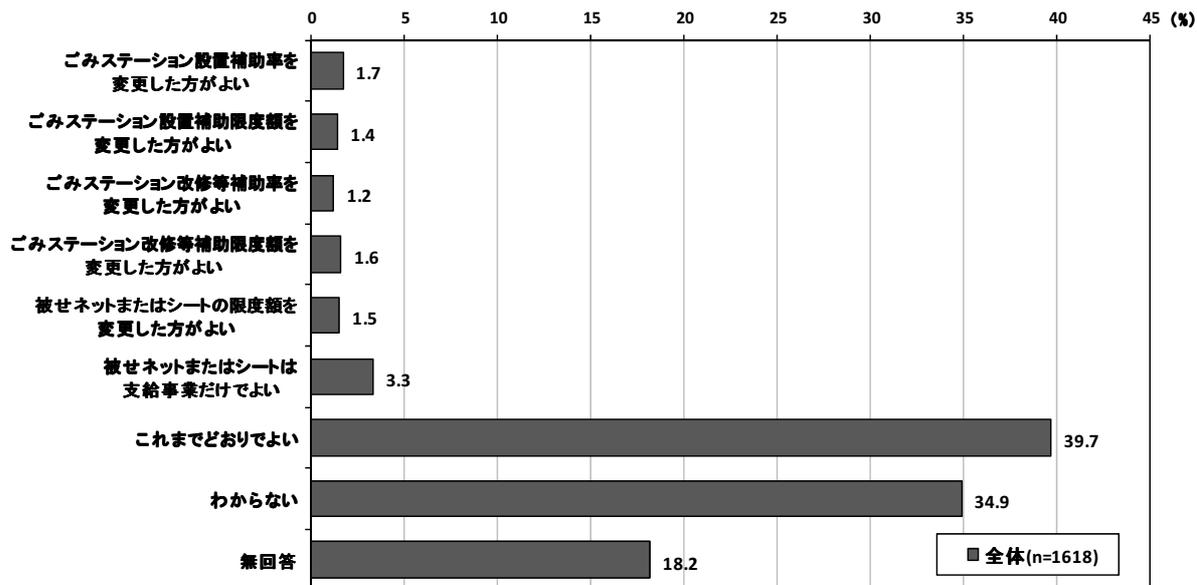


11 手数料収入の用途について（問）

(1) ごみステーション設置等補助金（問13-1）

ごみステーション設置等補助金についてみると、「これまでどおりでよい」が 39.7%と最も多く、「わからない」が 34.9%となっています。

問13-1 ごみステーション設置等補助金についてどう思いますか。（〇はいくつでも）



ごみステーション設置補助率を変更した方がよい	ごみステーション設置補助限度額を変更した方がよい	ごみステーション改修等補助率を変更した方がよい
<ul style="list-style-type: none"> ● 全額(5) ● 今より高く(5) ● 70% ● 80% ● 1/2 補助に変更希望(近年に買い換えしたが、かなりの金額がかかった) ● 10 万円以内は全額 ● 3/4 ● 限度額を 15 万に 	<ul style="list-style-type: none"> ● 上限なし(2) ● 今より高く(3) ● 2 割増 ● 7 万円 ● 10 万円以内は全額 ● 15 万円に ● 20 万円(2) ● 30 万円 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全額・100%(5) ● 高く(3) ● 倍 ● 3/4 ● 5 万円 ● 4 万円以内は全額

ごみステーション改修等補助限度額を変更した方がよい	被せネットまたはシートの限度額を変更した方がよい
<ul style="list-style-type: none"> ● 全額(4) ● 高く(4) ● 倍 ● 4 万円以内は全額 ● 6 万円 ● 8 万円 ● 10 万円(3) ● 20 万円 ● 安く(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全額(5) ● 高く(3) ● 5,000 円 ● いかなる場合でも 1/2 補助 ● 購入するネットのサイズにより補助金を変える ● 自治会の負担減が望ましい ● 条件を 1/2 以内、又は限度額 5,000 円~6,000 円

問13-1 ごみステーション設置等補助金についてどう思いますか。(〇はいくつでも)

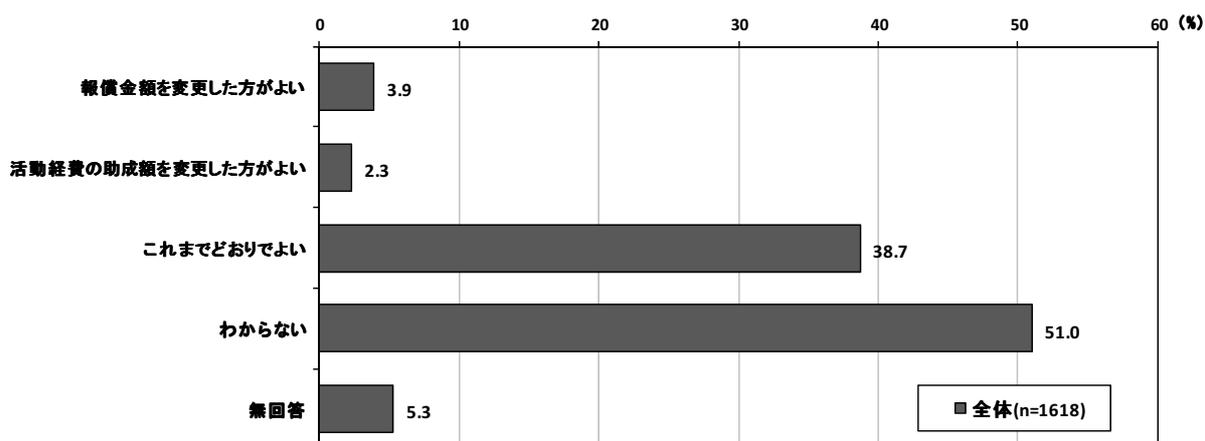
		サンプル数	ごみステーション設置補助率	ごみステーション設置補助限	ごみステーション改修等補助率	ごみステーション改修等補助限	被せネットまたはシートの限度額を変更した方がよい	被せネットまたはシートの限度額を変更した方がよい	被せネットまたはシートの給事業だけでよい	これまでどおりでよい	わからない	無回答
全体		1618 100.0	27 1.7	22 1.4	20 1.2	26 1.6	24 1.5	53 3.3	643 39.7	565 34.9	295 18.2	
性別	男性	530 100.0	12 2.3	11 2.1	12 2.3	16 3.0	6 1.1	23 4.3	233 44.0	156 29.4	91 17.2	
	女性	1074 100.0	15 1.4	11 1.0	8 0.7	10 0.9	17 1.6	30 2.8	406 37.8	406 37.8	198 18.4	
年齢別	20歳未満	23 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	8 34.8	13 56.5	2 8.7	
	20歳代	112 100.0	- -	- -	2 1.8	1 0.9	- -	2 1.8	43 38.4	47 42.0	18 16.1	
	30歳代	174 100.0	4 2.3	1 0.6	1 0.6	1 0.6	1 0.6	4 2.3	67 38.5	79 45.4	19 10.9	
	40歳代	246 100.0	6 2.4	5 2.0	3 1.2	6 2.4	3 1.2	6 2.4	110 44.7	95 38.6	25 10.2	
	50歳代	289 100.0	2 0.7	6 2.1	3 1.0	5 1.7	5 1.7	6 2.1	114 39.4	113 39.1	46 15.9	
	60歳代	397 100.0	6 1.5	5 1.3	5 1.3	7 1.8	6 1.5	13 3.3	164 41.3	119 30.0	83 20.9	
	70歳代	264 100.0	8 3.0	5 1.9	5 1.9	6 2.3	7 2.7	16 6.1	87 33.0	75 28.4	71 26.9	
	80歳以上	101 100.0	1 1.0	- -	1 1.0	- -	2 2.0	6 5.9	45 44.6	24 23.8	24 23.8	
家族人数別	1人	291 100.0	2 0.7	2 0.7	1 0.3	3 1.0	2 0.7	12 4.1	126 43.3	91 31.3	56 19.2	
	2人	590 100.0	8 1.4	9 1.5	5 0.8	7 1.2	9 1.5	23 3.9	231 39.2	196 33.2	116 19.7	
	3人	400 100.0	8 2.0	5 1.3	5 1.3	6 1.5	8 2.0	9 2.3	159 39.8	138 34.5	78 19.5	
	4人	217 100.0	9 4.1	5 2.3	9 4.1	8 3.7	4 1.8	5 2.3	79 36.4	94 43.3	26 12.0	
	5人	69 100.0	- -	1 1.4	- -	2 2.9	- -	2 2.9	24 34.8	34 49.3	7 10.1	
	6人以上	37 100.0	- -	- -	- -	- -	1 2.7	2 5.4	18 48.6	9 24.3	7 18.9	
等減り・組みサイケル	日々取り組み	670 100.0	10 1.5	8 1.2	7 1.0	10 1.5	10 1.5	23 3.4	278 41.5	207 30.9	137 20.4	
	負担なし取り組み	815 100.0	13 1.6	12 1.5	12 1.5	14 1.7	11 1.3	29 3.6	312 38.3	312 38.3	131 16.1	
	取り組みなし	118 100.0	4 3.4	2 1.7	1 0.8	2 1.7	2 1.7	1 0.8	48 40.7	46 39.0	18 15.3	

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

(2) クリーン推進員報償金及びクリーン推進員校区連絡会議の活動経費の助成（問13-2）

クリーン推進員報償金及びクリーン推進員校区連絡会議の活動経費の助成についてみると、「わからない」が51.0%と半数を占め、「これまでどおりでよい」が38.7%となっています。「報償金額を変更した方がよい」は3.9%、「活動経費の助成額を変更した方がよい」は2.3%となっています。

問13-2 クリーン推進員報償金及びクリーン推進員校区連絡会議の活動経費の助成についてどう思いますか。(〇はいくつでも)



報償金額を変更した方がよい	活動経費の助成額を変更した方がよい
<ul style="list-style-type: none"> ● 廃止・ボランティアでよい(12) ● 増額する(6) ● 1,000円アップ ● 1,000円を700円か800円に ● 500円(4) ● 2,000円(3) ● 月2,000円以上 ● 3,000円(6) ● 年間5,000円、自分の住んでいる町をきれいにするのは当たり前前。お世話して下さる方はお金ではない ● 30,000円/人/月 ● 5,000円以上(活動の割に支給金が少なすぎ) ● 年に一人あたり5,000円 ● 活動した程度に応じて変えた方がよい ● 活動経費助成のみでよいのでは ● 活動内容に応じて支給すべき ● 金額を高くしたら推進員の人数が増えそう ● 校区連絡会議に助成 ● 推進員を廃止してクリーン推進活動自治会に補助する ● 地区によって活動の大変さが違うようなので、管理するステーションの数などで決めるのもよいのでは？ ● 無くして、その経費で有料ごみ袋を値下げしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 増やす(5) ● 0円・いらぬ(7) ● 人数に500円乗じた額 ● 1,500円以上 ● 2,000円程度 ● 3,000円(2) ● 3,000円 ● 年間18,000円(月1,500円×12ヵ月) ● 一元化後アップ

問13-2 クリーン推進員報償金及びクリーン推進員校区連絡会議の活動経費の助成についてどう思いますか。(〇はいくつでも)

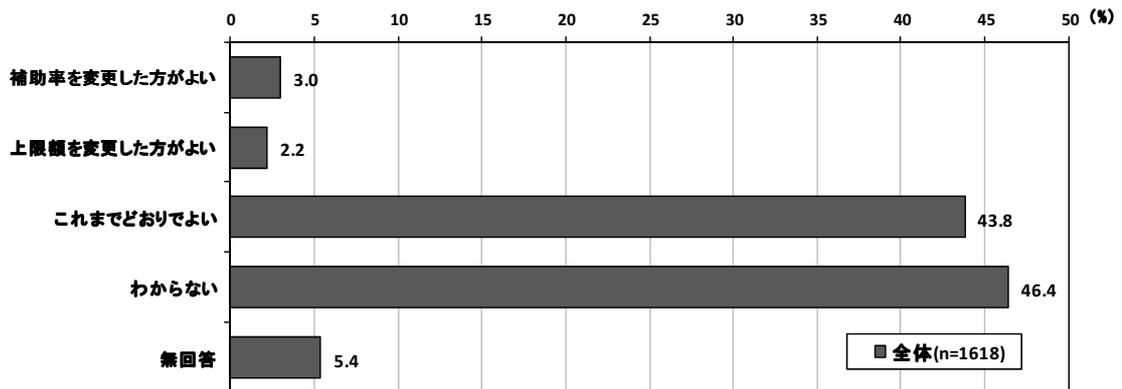
		サンプル数	方がよい 報償金額を 変更した	活動経費の 助成額を 変更した方が よい	これまでど おりです	わからない	無回答
全体		1618 100.0	63 3.9	37 2.3	626 38.7	825 51.0	85 5.3
性別	男性	530 100.0	26 4.9	13 2.5	239 45.1	237 44.7	23 4.3
	女性	1074 100.0	36 3.4	23 2.1	386 35.9	584 54.4	55 5.1
年齢別	20歳未満	23 100.0	- -	- -	6 26.1	17 73.9	- -
	20歳代	112 100.0	4 3.6	2 1.8	44 39.3	64 57.1	- -
	30歳代	174 100.0	8 4.6	4 2.3	53 30.5	106 60.9	4 2.3
	40歳代	246 100.0	6 2.4	2 0.8	99 40.2	137 55.7	4 1.6
	50歳代	289 100.0	12 4.2	8 2.8	107 37.0	158 54.7	10 3.5
	60歳代	397 100.0	13 3.3	8 2.0	168 42.3	189 47.6	22 5.5
	70歳代	264 100.0	14 5.3	7 2.7	111 42.0	106 40.2	28 10.6
	80歳以上	101 100.0	6 5.9	5 5.0	36 35.6	46 45.5	10 9.9
家族人数別	1人	291 100.0	11 3.8	9 3.1	110 37.8	139 47.8	25 8.6
	2人	590 100.0	23 3.9	15 2.5	239 40.5	287 48.6	34 5.8
	3人	400 100.0	20 5.0	8 2.0	166 41.5	201 50.3	10 2.5
	4人	217 100.0	7 3.2	2 0.9	76 35.0	127 58.5	7 3.2
	5人	69 100.0	1 1.4	2 2.9	20 29.0	43 62.3	3 4.3
	6人以上	37 100.0	1 2.7	- -	11 29.7	25 67.6	- -
	等減 取り・ 組み 状況 イ ケ ル	日々取り組み	670 100.0	34 5.1	20 3.0	282 42.1	303 45.2
負担なし取り組み		815 100.0	23 2.8	15 1.8	294 36.1	458 56.2	34 4.2
取り組みなし		118 100.0	5 4.2	1 0.8	48 40.7	60 50.8	5 4.2

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

(3) 生ごみ処理機器の購入補助 (問 13-3)

生ごみ処理機器の購入補助についてみると、「わからない」が 46.4%、「これまでどおりでよい」が 43.8%と多くなっています。「補助率を変更した方がよい」は 3.0%、「上限額を変更した方がよい」は 2.2%となっています。

問 13-3 生ごみ処理機器の購入補助についてどう思いますか。(〇はいくつでも)



補助率を変更した方がよい	上限額を変更した方がよい
<ul style="list-style-type: none"> ● 0円・いらぬ(6) ● 2/3(13) ● 購入金額の 8 割程度 ● 全額(5) ● 安く・低く(4) ● 高く(3) ● 500 円 ● 一家に一台無料 ● 自己負担が少ない方が普及すると思う 	<ul style="list-style-type: none"> ● 0 円 ● 1/3(4) ● 70%にして ● 3/4(購入金額) ● 全額(3) ● 高く(4) ● 安く(2) ● 5 万円(4) ● 10 万円上限 ● 電動 40,000、非電動 20,000 ● 基本的に個人で負担すべき ● 自己負担が少ない方が普及すると思う

問13-3 生ごみ処理機器の購入補助についてどう思いますか。(〇はいくつでも)

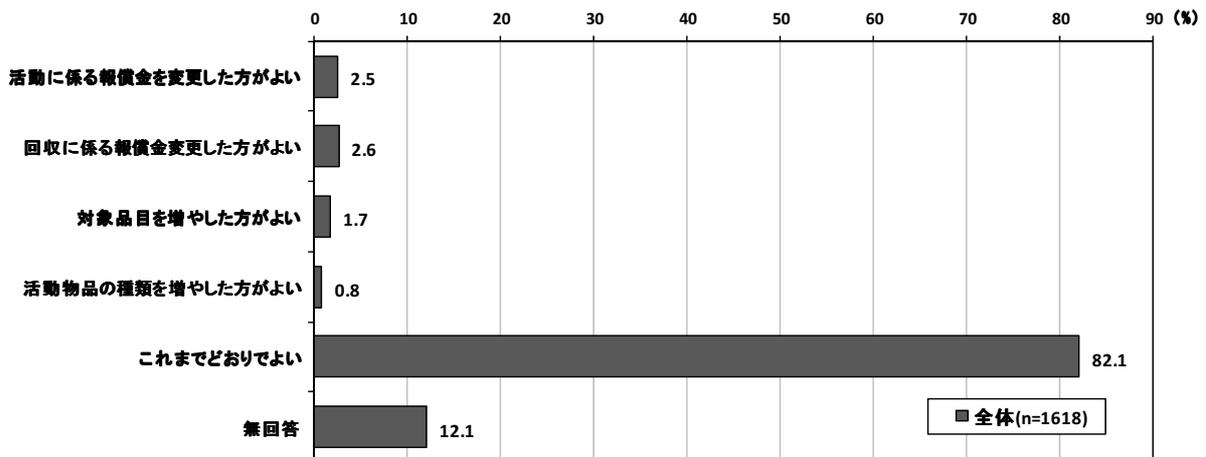
		サンプル数	が補助率を 変更した方 がよい	が上限額を 変更した方 がよい	いこれまで どおりだよ	わからない	無回答
全体		1618 100.0	49 3.0	36 2.2	709 43.8	751 46.4	88 5.4
性別	男性	530 100.0	18 3.4	14 2.6	273 51.5	210 39.6	22 4.2
	女性	1074 100.0	31 2.9	22 2.0	433 40.3	538 50.1	58 5.4
年齢別	20歳未満	23 100.0	- -	- -	6 26.1	15 65.2	2 8.7
	20歳代	112 100.0	3 2.7	2 1.8	51 45.5	57 50.9	- -
	30歳代	174 100.0	8 4.6	4 2.3	71 40.8	91 52.3	2 1.1
	40歳代	246 100.0	9 3.7	10 4.1	113 45.9	115 46.7	3 1.2
	50歳代	289 100.0	8 2.8	3 1.0	134 46.4	138 47.8	8 2.8
	60歳代	397 100.0	13 3.3	13 3.3	185 46.6	169 42.6	22 5.5
	70歳代	264 100.0	4 1.5	2 0.8	104 39.4	123 46.6	31 11.7
	80歳以上	101 100.0	4 4.0	2 2.0	42 41.6	42 41.6	12 11.9
家族人数別	1人	291 100.0	8 2.7	6 2.1	124 42.6	128 44.0	28 9.6
	2人	590 100.0	16 2.7	11 1.9	256 43.4	282 47.8	29 4.9
	3人	400 100.0	11 2.8	9 2.3	192 48.0	179 44.8	14 3.5
	4人	217 100.0	10 4.6	8 3.7	87 40.1	107 49.3	7 3.2
	5人	69 100.0	4 5.8	2 2.9	27 39.1	35 50.7	2 2.9
	6人以上	37 100.0	- -	- -	20 54.1	17 45.9	- -
等減 取り・ 組み 状況 サイク ル	日々取り組み	670 100.0	18 2.7	12 1.8	305 45.5	297 44.3	42 6.3
	負担なし取り組み	815 100.0	27 3.3	20 2.5	359 44.0	387 47.5	31 3.8
	取り組みなし	118 100.0	4 3.4	3 2.5	44 37.3	65 55.1	4 3.4

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

(4) 有価物集団回収(廃品回収)運動実施団体に対する報償金 (問13-4)

有価物集団回収(廃品回収)運動実施団体に対する報償金についてみると、「これまでどおりでよい」が82.1%と圧倒的に多くなっています。

問13-4 有価物集団回収(廃品回収)運動実施団体に対する報償金についてどう思いますか。(〇はいくつでも)



活動に係る報償金を変更した方がよい	回収に係る報償金変更した方がよい
<ul style="list-style-type: none"> ● 0円・必要なし(5) ● 500円 ● 1,000円 ● 5,000円(2) ● 10,000円 ● 2倍 ● 高く(4) ● 回収報償金に一元化 ● 回収量1kgにつき10円 ● 月数に1,000円乗じた額 ● 月数に5,000円を乗じた額等に増やす(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 0円・廃止(2) ● 100%UP ● 2倍(2) ● 高く(12) ● ガソリン代 ● 缶の回収は1kgに10円 ● 紙・布類 10円 ● 全て10円

対象品目を増やした方がよい	活動物品の種類を増やした方がよい
<ul style="list-style-type: none"> ● ビン類(5) ● プラスチック類(2) ● ペットボトル(2) ● レアメタル・小型家電 ● 携帯・PCなど ● 新聞・ダンボール・本以外の紙(DM・厚紙・封筒・小さい紙切れ) ● 文具 	<ul style="list-style-type: none"> ● リサイクル出来るものであればよい ● リヤカーよりも小回りの利く台車の方が使い途が多いのではないのでしょうか ● 台車(手押し) ● 文具とか ● 有価ごみ袋支給

問13-4 有価物集団回収(廃品回収)運動実施団体に対する報償金についてどう思いますか。(〇はいくつでも)

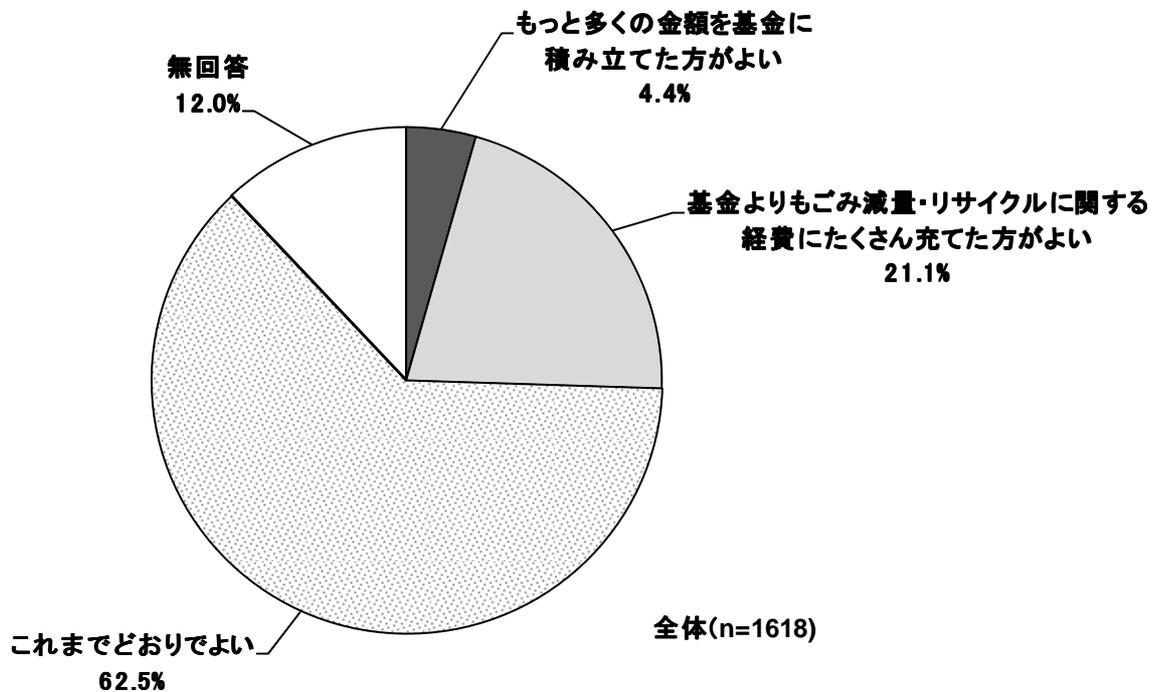
		サンプル数	活動に 係る報 償金を 変 更した 方がよ い	回収に 係る報 償金を 変 更した 方がよ い	対象品 目を増 やした 方がよ い	活動物 品の種 類を増 やした 方がよ い	これまで どおり です	無 回 答
全体		1618 100.0	40 2.5	42 2.6	28 1.7	13 0.8	1328 82.1	195 12.1
性別	男性	530 100.0	20 3.8	16 3.0	9 1.7	6 1.1	444 83.8	52 9.8
	女性	1074 100.0	20 1.9	26 2.4	19 1.8	7 0.7	879 81.8	134 12.5
年齢別	20歳未満	23 100.0	2 8.7	1 4.3	4 17.4	2 8.7	15 65.2	2 8.7
	20歳代	112 100.0	3 2.7	-	1 0.9	1 0.9	98 87.5	9 8.0
	30歳代	174 100.0	3 1.7	6 3.4	2 1.1	-	150 86.2	13 7.5
	40歳代	246 100.0	3 1.2	6 2.4	6 2.4	1 0.4	216 87.8	17 6.9
	50歳代	289 100.0	9 3.1	8 2.8	3 1.0	1 0.3	250 86.5	23 8.0
	60歳代	397 100.0	7 1.8	9 2.3	6 1.5	2 0.5	332 83.6	47 11.8
	70歳代	264 100.0	8 3.0	7 2.7	5 1.9	6 2.3	190 72.0	56 21.2
	80歳以上	101 100.0	5 5.0	5 5.0	1 1.0	-	73 72.3	20 19.8
家族人数別	1人	291 100.0	8 2.7	12 4.1	2 0.7	2 0.7	218 74.9	54 18.6
	2人	590 100.0	13 2.2	14 2.4	8 1.4	5 0.8	493 83.6	71 12.0
	3人	400 100.0	11 2.8	9 2.3	8 2.0	4 1.0	340 85.0	32 8.0
	4人	217 100.0	6 2.8	6 2.8	7 3.2	2 0.9	178 82.0	23 10.6
	5人	69 100.0	2 2.9	1 1.4	3 4.3	-	57 82.6	6 8.7
	6人以上	37 100.0	-	-	-	-	35 94.6	2 5.4
等減 取り 組 み サ イ ク ル	日々取り組み	670 100.0	19 2.8	16 2.4	14 2.1	6 0.9	549 81.9	83 12.4
	負担なし取り組み	815 100.0	19 2.3	21 2.6	12 1.5	6 0.7	679 83.3	88 10.8
	取り組みなし	118 100.0	1 0.8	4 3.4	2 1.7	1 0.8	96 81.4	14 11.9

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

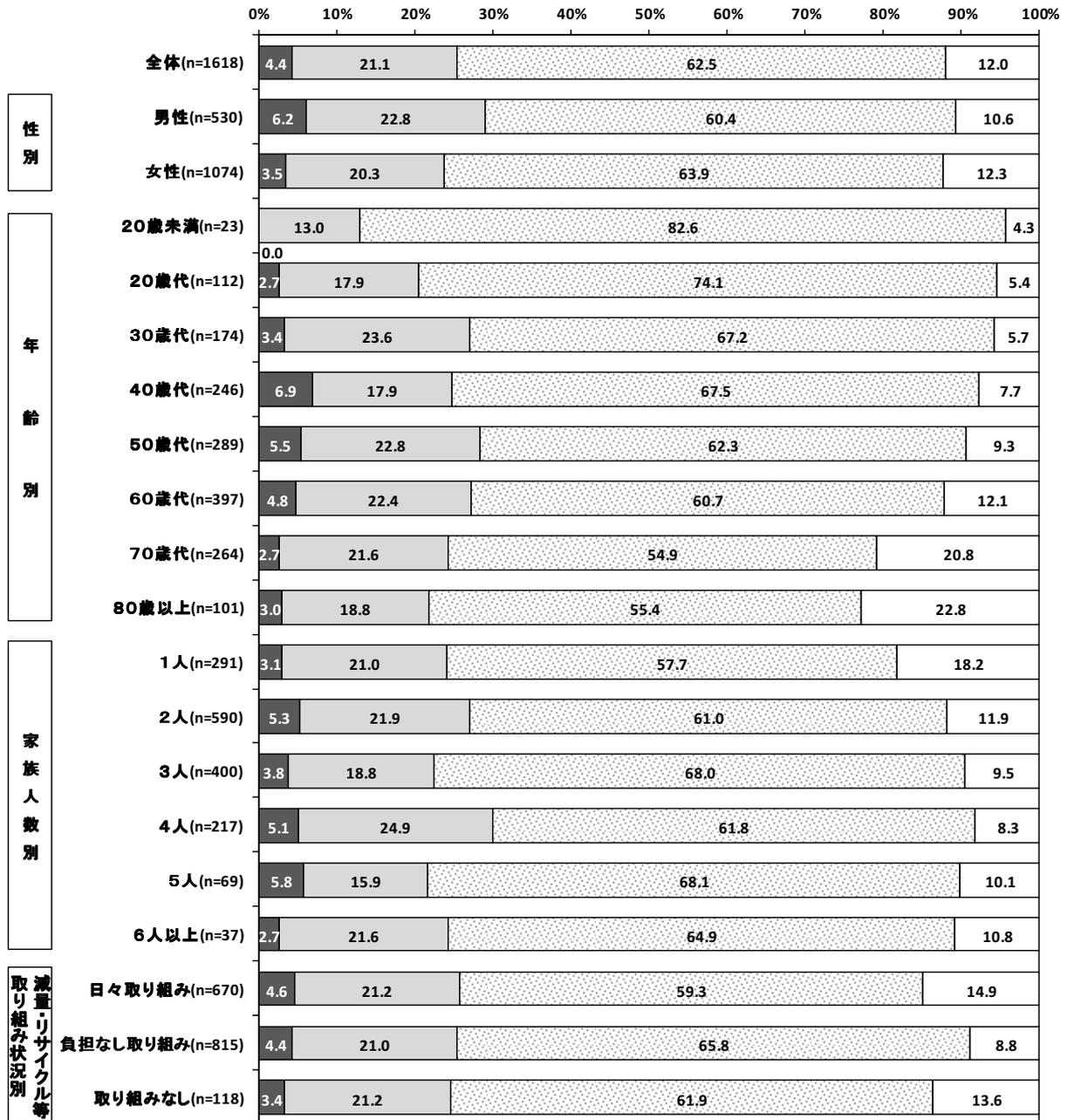
(5) 一般廃棄物処理施設の整備に要する経費に充てるための基金積み立て（問13-5）

一般廃棄物処理施設の整備に要する経費に充てるため、基金を積み立てていることについてみると、「これまでどおりでよい」が62.5%と圧倒的に多くなっています。「基金よりもごみ減量・リサイクルに関する経費にたくさん充てた方がよい」は21.1%、「もっと多くの金額を基金に積み立てた方がよい」は4.4%となっています。

問13-5 一般廃棄物処理施設の整備に要する経費に充てるため、基金を積み立てていることについてどう思いますか。（〇は1つ）



問13-5 一般廃棄物処理施設の整備に要する経費に充てるため、基金を積み立てていることについてどう思いますか。(〇は1つ)

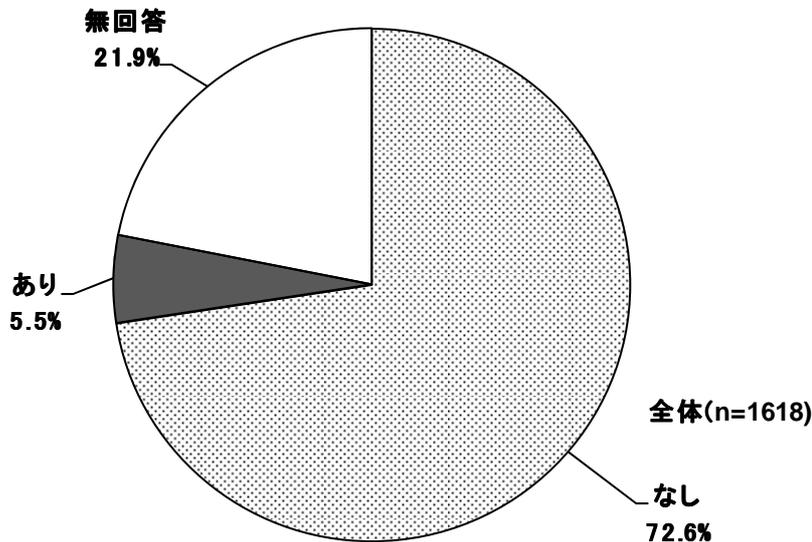


■ もっと多くの金額を基金に
積み立てた方がよい □ 基金よりもごみ減量・リサイクルに関する
経費にたくさん充てた方がよい □ これまでどおりでよい □ 無回答

(6) 手数料収入の活用 (問13-6)

手数料収入を活用してほしいことが、「あり」は5.5%となっています。

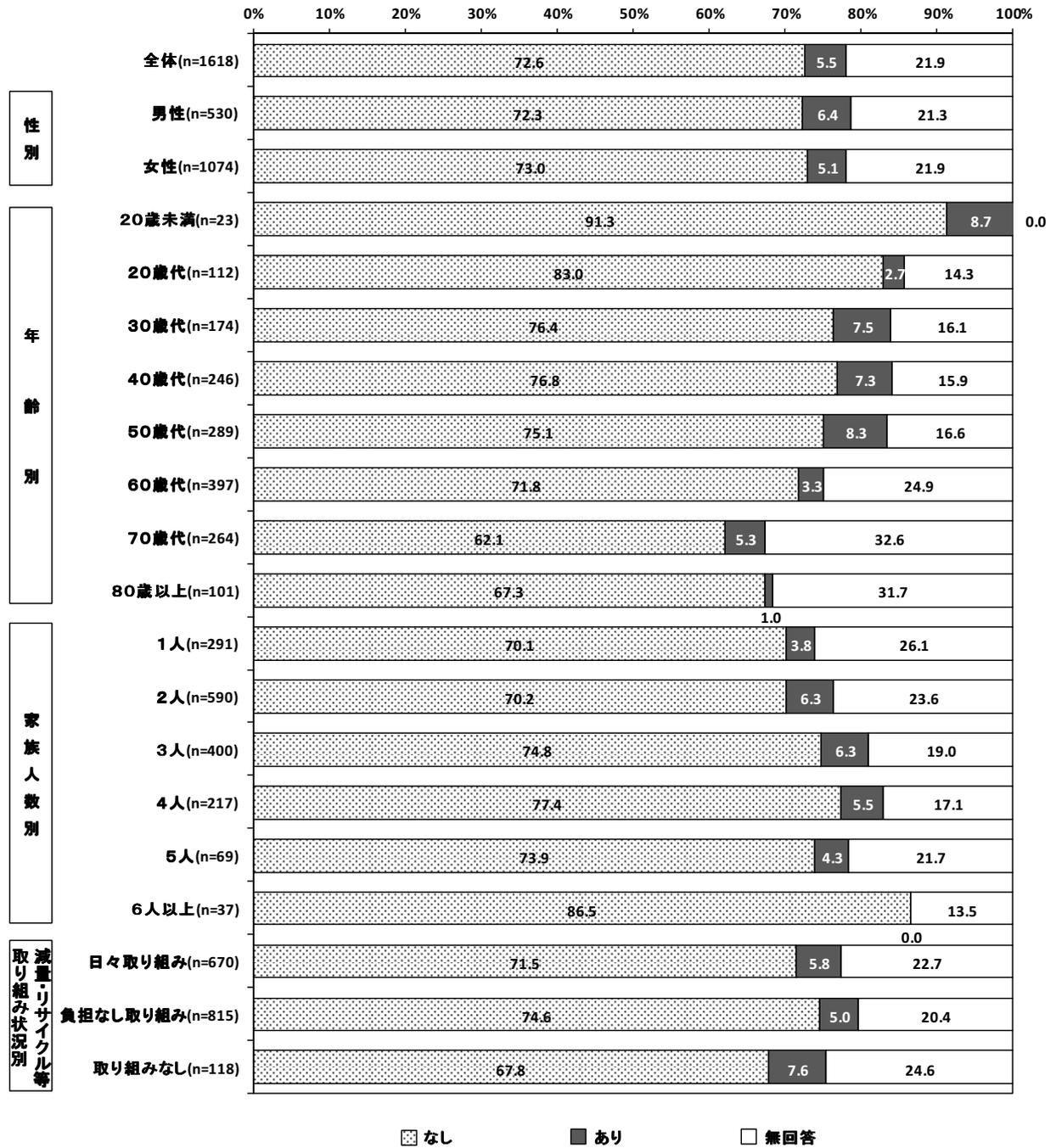
問13-6 上記1～5以外で、手数料収入を活用してほしいことはありますか。



「あり」の内容

<ul style="list-style-type: none"> ● ゴミ袋代金の減額(8) ● ゴミステーションにネットではなくステンレスの箱(ふた付き)を設置(6) ● ゴミ袋の耐久性をよくしてほしい(2) ● 戸別回収(2) ● ゴミ処理機補助に活用(2) ● ゴミ袋(指定)の配布 ● ゴミステーションへの啓発看板の掲示 ● リサイクルに関する研究に積極的に取り組む ● ゴミの分別の説明がいまひとつ分かりにくい ● ゴミ減量リサイクル優良自治会指定方式を募り、自治会ごとの努力に期待した方が効量が上がる ● ゴミ収集場所のアミではなく鍵をかけられるゴミ置き場設置かカメラ設置。不審者や動物の被害を防ぐ ● ゴミ処理場の機能向上 ● さらに積み立てて、市民に公開し、もっと大分市内の緑、季節を感じる木を植える活動にしてほしい ● ボイ捨て禁止のためゴミ箱の設置は、無理と思う。家庭ゴミを持ち込む方が増える ● ボランティアのゴミ回収者・団体に対してお茶代くらい支給しては ● ライフハック、例えば使い捨ての割りばしを使って生活に便利なアイデアを皆に教える ● リサイクル専用の施設を作る ● ルールの啓発 ● 回収費用にすればよい ● 海のプラスチックゴミ回収を考えてほしい。海岸に散乱するプラゴミはまた海へ戻ります。回収に助成金を ● 各支所に軽トラを数台購入し市民に貸し出す ● 高熱で簡単に処理できる炉に取り替える 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校給食の食べ残しを把握し、経費削減し給食費を安くする ● 高齢世帯が増えて重量物をステーションまで運ぶのが難しい家庭が増えている。回収の方法を ● 資源物を活用したりリサイクル品(例:トイレトペーパー)に補助金を出して安く提供する ● 社会的弱者のために活用してほしい ● 手数料を安くしてほしい ● 収集車が来たのが分かるように音楽を鳴らしてほしい ● 推進員、ボランティア増員の為の啓発活動 ● 生ゴミ処理機の活用促進 ● 粗大ゴミ回収補助。福岡市方式を取り入れてほしい。チケットを買って貼付しておく→夜中～日中に取りに来る(今のやり方は立ち会いが必要) ● 地域住民へ還元。公共の場にTV・ラジオ等提供 ● 鳥対策、イノシシ・シカ等対策 ● 道路・歩道・公園・地域美化 ● 年1,2回電気用品(テレビ・冷蔵庫)や粗大ゴミ(タンス・ベッド)を無料か安く回収する仕組みを作ってほしい ● 必要経費の削減を行い基金に積み立てる ● 不法投棄等の防止 ● 福祉への予算充填 ● 分別を簡易化して収集後の処理の費用増に充当 ● 毎年一定数のゴミ袋を支給すればよい ● 夜間不法投棄と資源盗難対策パトロール(空き家、限界集落、過疎地や人里離れた山など) ● 幼児期の子供達にリサイクルを使って出来る玩具や遊び方などを伝えてもらいたい ● 立派なゴミ置き場のない所に提案・助言・助成をしてほしい。カラス・ネコの対策に苦慮している
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

問13-6 上記1~5以外で、手数料収入を活用してほしいことはありますか。



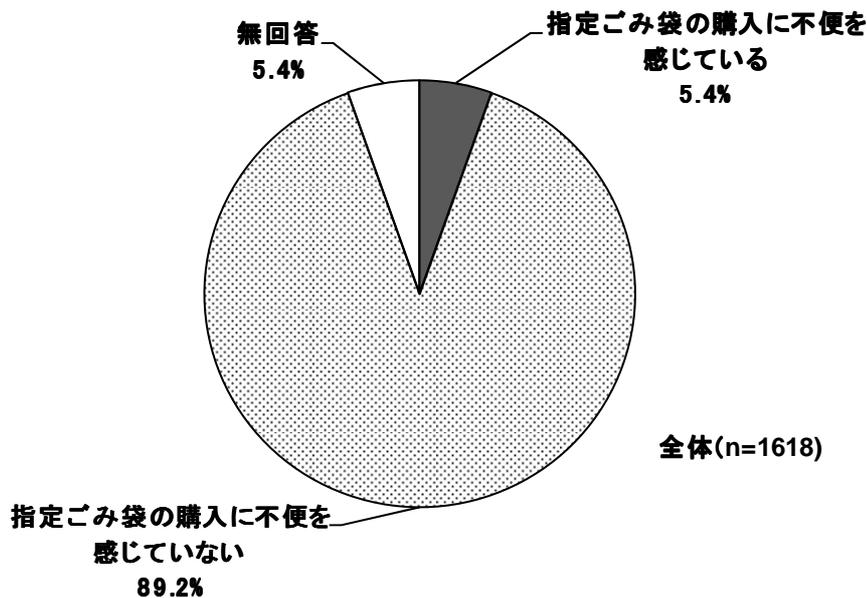
12 指定ごみ袋取扱所について（問 14）

指定ごみ袋取扱所についてみると、「指定ごみ袋の購入に不便を感じていない」が 89.2%と圧倒的に多く、「指定ごみ袋の購入に不便を感じている」は 5.4%となっています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、年齢が低いほど「指定ごみ袋の購入に不便を感じている」が多く、20 歳未満で 21.7%、20 歳代で 12.5%となっています。

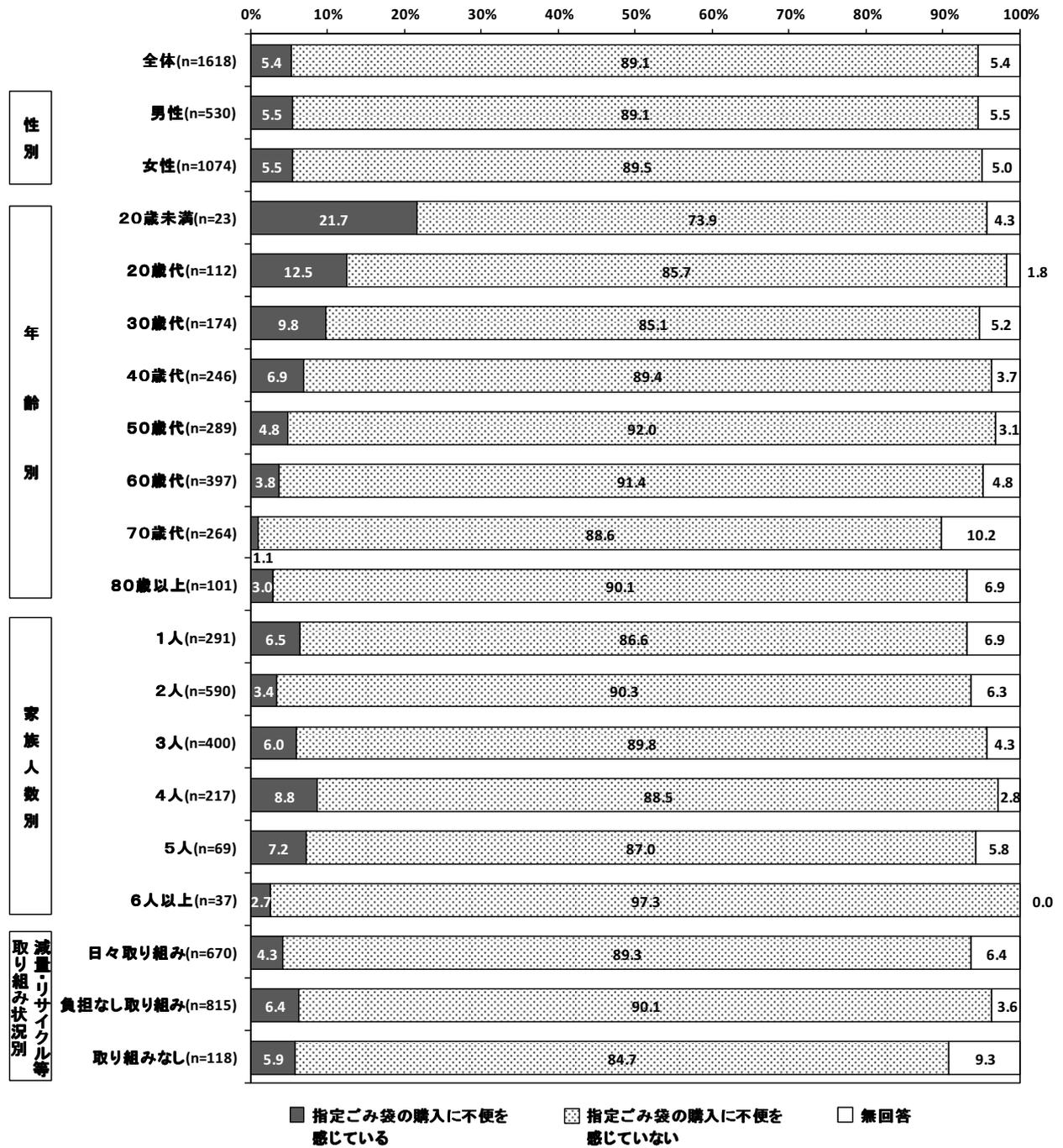
問 14 指定ごみ袋取扱所についてお答えください。（○は 1 つ）



「指定ごみ袋の購入に不便を感じている」の内容

- 値段が高い(15)
- 買いに行く時間がない・買い忘れがある(10)
- 袋の質が悪い・すぐ破れる(8)
- 20 枚入りなど枚数を増やしてほしい(7)
- 店舗に品切れのときがある(3)
- 袋のサイズを増やしてほしい
- 100 均で売ってほしい
- お年寄りの方に買いやすいようにしてあげる。高齢者には訪問して渡すなど
- カードのポイントで購入できない
- ごみ袋サイズ別に用意しないといけないので、保管場所が狭くなる→買い置きが少ない→いざという時ない
- 種類が多すぎる
- 色々な大きさの袋を購入しないといけない
- 生協などの宅配で買えると便利
- 大・小、買い分けが不便
- 大きくて切ったり出来ないものを入れられず困る
- 大分市は袋に入って売っているが、ロール状にしたり 10 枚ではなく 50 枚 30 枚 10 枚と分けて売ったらよい
- 店によってごみ袋の透明度、厚さが違うので困る
- 店によって置き場所が違い探して回ることがある
- 普通のごみ袋にシールにしてほしい

問14 指定ごみ袋取扱所についてお答えください。(〇は1つ)

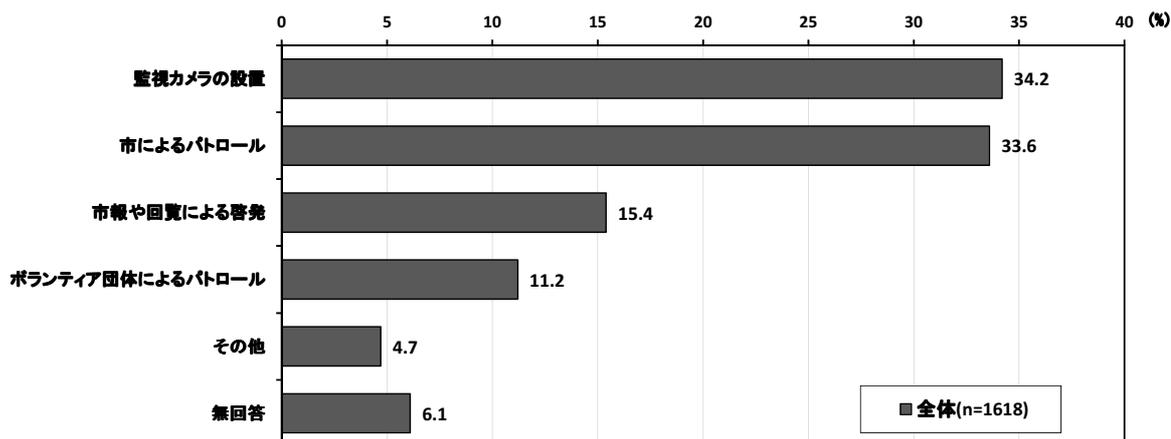


13 不法投棄に対する取り組みについて（問15）

不法投棄に対する取り組みとして充実してほしいこととしては、「監視カメラの設置」（34.2%）と「市によるパトロール」（33.6%）の2つが多くなっています。次いで「市報や回覧による啓発」が15.4%、「ボランティア団体によるパトロール」が11.2%となっています。

問15 不法投棄に対する取り組みとして充実してほしいと思うものはどれですか。（○は1つ）

（※）複数回答がかなりあったため、複数回答も可とした



「その他」の内容

- 厳罰化、取り締まりの強化、警察等との連携 (20)
- テレビでの呼びかけ (2)
- 不法投棄の原因の究明 (2)
- ごみの中身を確認して当事者を確認できるようにしてほしい
- ごみを捨てる場所付近をパトロール、または看板を設置
- シールを貼らせるとよい。地域ごとに番号がついたシールを配り、ごみ袋にその地域を示す番号がついてないごみは集めないとする
- ステーション場所の検討。無理かもしれないが多く通る道でなく、奥まった所にステーションを設けるとか
- ドローンの活用 (カメラなど夜間に捨てる人、山林に捨てる人が多い)
- リサイクル業者の広報をもっとする
- 近くのアパートの不法投棄がひどく市から指導してもらえないか
- 佐野ステーション等への持ち込み料を安くする
- 山間部等、地区外から車で来て捨てて行く人に対しての問題解決法
- 山林などへ立て看板
- 私達の地域ではクリーン委員の活動がない。地域の推進員全員で月に定期的にパトロールが必要
- 自己啓発が大切
- 自宅の番号を記入すると効果があります。実施中
- 条例で高額な反則金を決め、ポスターで周知させる
- 早く回収すること (放置されると不法投棄が増えるから)
- 地域の目
- 電化製品等の回収費用が高すぎる
- 特に投棄の多い場所等を開示する
- 年に1~2回程度不適正排出ごみを特別収集する
- 不法投棄されるものを買入れなど生じにくい仕組みを作るべき
- 不法投棄するのはお金をかけたくない人がいると思うのでリサイクル料を購入時に上乗せシステムがよい
- 不法投棄で被害を受けている人に直接聞いた方がよい
- 不法投棄は大型ごみが多い。この処置を講じることが大事だ。廃棄しやすい方策を
- 不法投棄を見かけた時、自動車ナンバー等の通報を依頼する
- 不法投棄者通報制度導入

問15 不法投棄に対する取り組みとして充実してほしいと思うものはどれですか。(〇は1つ)

(※)複数回答がかなりあったため、複数回答も可とした

		サンプル数	市によるパトロール	ボランティアによるパトロール	監視カメラの設置	発市報や回覧による啓	その他	無回答
全体		1618 100.0	544 33.6	182 11.2	553 34.2	249 15.4	76 4.7	98 6.1
性別	男性	530 100.0	173 32.6	70 13.2	162 30.6	85 16.0	27 5.1	29 5.5
	女性	1074 100.0	370 34.5	112 10.4	386 35.9	162 15.1	48 4.5	64 6.0
年齢別	20歳未満	23 100.0	6 26.1	7 30.4	7 30.4	3 13.0	- -	- -
	20歳代	112 100.0	43 38.4	14 12.5	39 34.8	17 15.2	5 4.5	4 3.6
	30歳代	174 100.0	64 36.8	21 12.1	75 43.1	15 8.6	5 2.9	5 2.9
	40歳代	246 100.0	98 39.8	15 6.1	90 36.6	30 12.2	19 7.7	10 4.1
	50歳代	289 100.0	92 31.8	34 11.8	117 40.5	45 15.6	10 3.5	11 3.8
	60歳代	397 100.0	124 31.2	52 13.1	124 31.2	74 18.6	13 3.3	23 5.8
	70歳代	264 100.0	81 30.7	26 9.8	74 28.0	43 16.3	21 8.0	29 11.0
	80歳以上	101 100.0	36 35.6	12 11.9	24 23.8	21 20.8	2 2.0	10 9.9
家族人数別	1人	291 100.0	83 28.5	39 13.4	96 33.0	44 15.1	16 5.5	26 8.9
	2人	590 100.0	199 33.7	70 11.9	200 33.9	88 14.9	31 5.3	31 5.3
	3人	400 100.0	148 37.0	34 8.5	137 34.3	74 18.5	14 3.5	20 5.0
	4人	217 100.0	79 36.4	28 12.9	78 35.9	24 11.1	8 3.7	10 4.6
	5人	69 100.0	23 33.3	6 8.7	26 37.7	9 13.0	5 7.2	4 5.8
	6人以上	37 100.0	12 32.4	5 13.5	10 27.0	8 21.6	1 2.7	2 5.4
等減取り・取り組み状況	日々取り組み	670 100.0	201 30.0	75 11.2	227 33.9	119 17.8	44 6.6	46 6.9
	負担なし取り組み	815 100.0	302 37.1	95 11.7	284 34.8	111 13.6	24 2.9	32 3.9
	取り組みなし	118 100.0	40 33.9	11 9.3	38 32.2	16 13.6	7 5.9	14 11.9

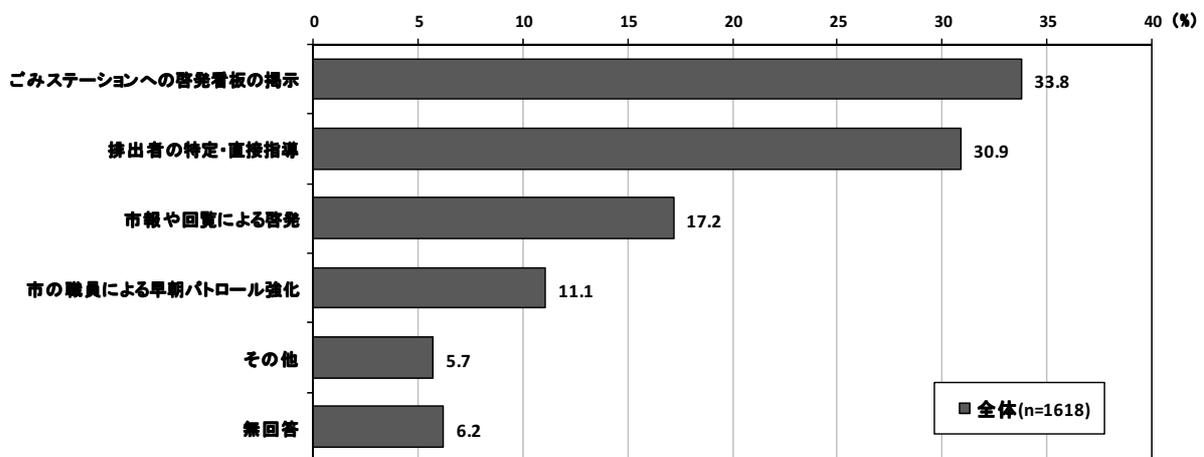
(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

14 不適正排出 に対する取り組みについて（問16）

不適正排出（ごみステーションへのルール違反ごみ）に対する取り組みとして充実してほしいこととしては、「ごみステーションへの啓発看板の掲示」（33.8%）と「排出者の特定・直接指導」（30.9%）の2つが30%を超えています。次いで「市報や回覧による啓発」が17.2%、「市の職員による早朝パトロール強化」が11.1%となっています。

問16 不適正排出（ごみステーションへのルール違反ごみ）に対する取り組みとして充実してほしいと思うものはどれですか。（〇は1つ）

（※）複数回答がかなりあったため、複数回答も可とした



「その他」の内容

- 監視カメラの設置(11)
- 厳罰化、警察通報(6)
- ごみ袋への名前の記載(5)
- ステーションに鍵をかける(2)
- 2ヵ月に1回程度クリーン推進員に15分間位(8:00頃)パトロール依頼
- クリーン推進委員さんが月に一度見回られたら? → 排出者の特定・指導
- SNSの活用
- アパート所有者への指導・管理
- うっかりミスの犯人探しはよくない。人とのつながり方がおかしくなるので注意書きで持ち帰りしてもらう
- ごみステーション中きれいにする
- ごみの特定は難しい。それでも自分達の場所では我が家の前がステーションになっていて、不適正なごみは一定の時間まで残し、回覧用の紙を作成し知らせている
- ごみの日に残ったごみを市の職員の方にこまめに片付けてほしい(ごみステーション)
- 時々、黄色の紙を貼っているのを見かけますがそれでよい
- どの様な方法してもルール違反者はいます。私達の小さな団地でも未だ違反者がいます。地域ぐるみで取り組むような方法しかない
- まずは地域の中で解決すべき
- もっと頻繁に収集する
- モラル、分別で分かりにくい所もあるのでは。高齢化の問題あり。若年層の意識の問題もありか
- 回収日をもっときちんと分かりやすくして

「その他」の内容

- 外部からの持ち込みが多々ある(指定ごみ袋にも入れていない)。その場合、管理者がステッカー等貼っておけば回収してもらえるような制度ができたらと思う
- 各家の前にごみを出せる戸別収集してほしい
- 各自治会でのごみ講習会(特に年配者への指導)、具体例をあげて何ごみとして捨てるか指導
- 各自治会で指導すればよいのではないか
- 啓発看板の横に不適正排出ごみ写真を短期間(1ヶ月位)掲示
- 個人個人の意識の向上をもっと高めるよう子供の頃から教育していく
- 故意ではない人も増えている。市のパンフレットの内容が理解できていない人もいる。また、分別方法が変わり高齢者も間違える事も多い。啓発もですが分かりやすい分別の仕方を知らせることも必要。地域によっては番地を書いてステーションに出す所もあり、自治会担当者が確認してあげてほしいと思っているが、細かい分別は「違反ごみ」になりやすい
- 高齢者(一人暮らし)には分別が難しいので丁寧な啓発が必要である
- 自治会での勉強会等の取り組み。早朝パトロール時の直接指導
- 収集作業の方の方はシールを貼る。作業の方と一緒に回る
- 出し方が分からない人だと思うので、今より細かく記した手引きなどあるとルールが守れるのでは
- 組のごみステーションにアパートの人(ごみステーションのお金を払ってない人)がごみを入れる。アパートの管理人ももっとしっかりしてほしい。管理人に電話をしたが取り合ってくれなかった
- 他県のように時間帯を変える
- 地区による管理・啓発
- 不適正排出の原因として考えられるのは、
 - ・ごみ分別の間違い
 - ・他地域の人の不当投げ入れ
 - ・月2回程度の収集日のない時に出しているの3点が考えられるので、ごみステーションの啓発看板の掲示の工夫してほしい(大きく・見やすく・掲示しやすいものに)
- 不適正排出者がいても住民同士あまり強く言えない。市職の直接指導をお願いしたい
- 福岡のように夜集めてほしい
- 福岡市のように各家庭の前に置くようにしてもらえばいいのでは
- 分別の簡易化・合理化
- 老人が今日は何のごみの日か間違えないようごみステーションに燃えるごみ等、プレートを付ける。入れ替えは気付いた人が入れ替える

問16 不適正排出(ごみステーションへのルール違反ごみ) に対する取り組みとして充実してほしいと思うものはどれですか。(〇は1つ)

(※)複数回答がかなりあったため、複数回答も可とした

		サンプル数	市の職員強化による早朝バト	排出者の特定・直接指導	ごみステーションへの啓発	市報や回覧による啓発	その他	無回答
全体		1618 100.0	179 11.1	500 30.9	547 33.8	278 17.2	93 5.7	100 6.2
性別	男性	530 100.0	67 12.6	163 30.8	147 27.7	99 18.7	33 6.2	35 6.6
	女性	1074 100.0	110 10.2	336 31.3	396 36.9	175 16.3	60 5.6	59 5.5
年齢別	20歳未満	23 100.0	3 13.0	7 30.4	6 26.1	5 21.7	2 8.7	- -
	20歳代	112 100.0	12 10.7	42 37.5	37 33.0	16 14.3	4 3.6	6 5.4
	30歳代	174 100.0	33 19.0	70 40.2	43 24.7	19 10.9	8 4.6	9 5.2
	40歳代	246 100.0	24 9.8	91 37.0	78 31.7	38 15.4	22 8.9	6 2.4
	50歳代	289 100.0	37 12.8	93 32.2	107 37.0	45 15.6	14 4.8	12 4.2
	60歳代	397 100.0	33 8.3	105 26.4	153 38.5	78 19.6	20 5.0	24 6.0
	70歳代	264 100.0	26 9.8	68 25.8	87 33.0	48 18.2	21 8.0	27 10.2
	80歳以上	101 100.0	10 9.9	23 22.8	32 31.7	26 25.7	2 2.0	10 9.9
家族人数別	1人	291 100.0	32 11.0	95 32.6	80 27.5	52 17.9	15 5.2	27 9.3
	2人	590 100.0	57 9.7	173 29.3	207 35.1	104 17.6	38 6.4	38 6.4
	3人	400 100.0	45 11.3	123 30.8	147 36.8	68 17.0	24 6.0	16 4.0
	4人	217 100.0	32 14.7	70 32.3	76 35.0	31 14.3	7 3.2	11 5.1
	5人	69 100.0	9 13.0	27 39.1	17 24.6	12 17.4	6 8.7	2 2.9
	6人以上	37 100.0	3 8.1	8 21.6	17 45.9	7 18.9	3 8.1	1 2.7
等減り・取り組み状況	日々取り組み	670 100.0	65 9.7	200 29.9	226 33.7	129 19.3	38 5.7	43 6.4
	負担なし取り組み	815 100.0	99 12.1	261 32.0	277 34.0	134 16.4	46 5.6	36 4.4
	取り組みなし	118 100.0	14 11.9	38 32.2	40 33.9	10 8.5	7 5.9	16 13.6

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの(「無回答」を除く)

15 家庭ごみ有料化制度について（問 17）

家庭ごみ有料化制度についてみると、「必要だと思う」が 45.9%、「やむを得ない」が 44.7%、「必要だとは思わない」が 5.2%となっています。

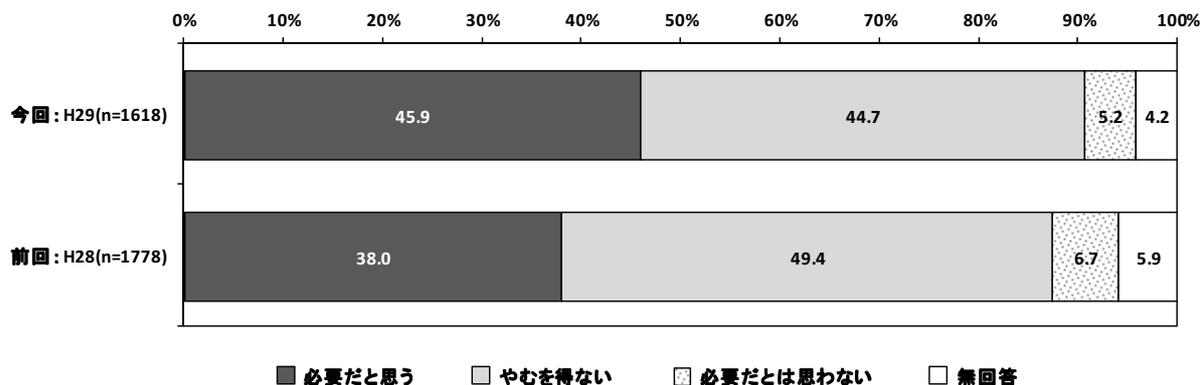
【前回調査（平成 28 年）からの変化】

- 「必要だと思う」は 38.0%から 45.9%へ 7.9 ポイント増、「やむを得ない」が 49.7%から 44.7%へ 4.7 ポイント減少していますが、その 2 つの合計は 87.4%から 90.6%へと増加しています。

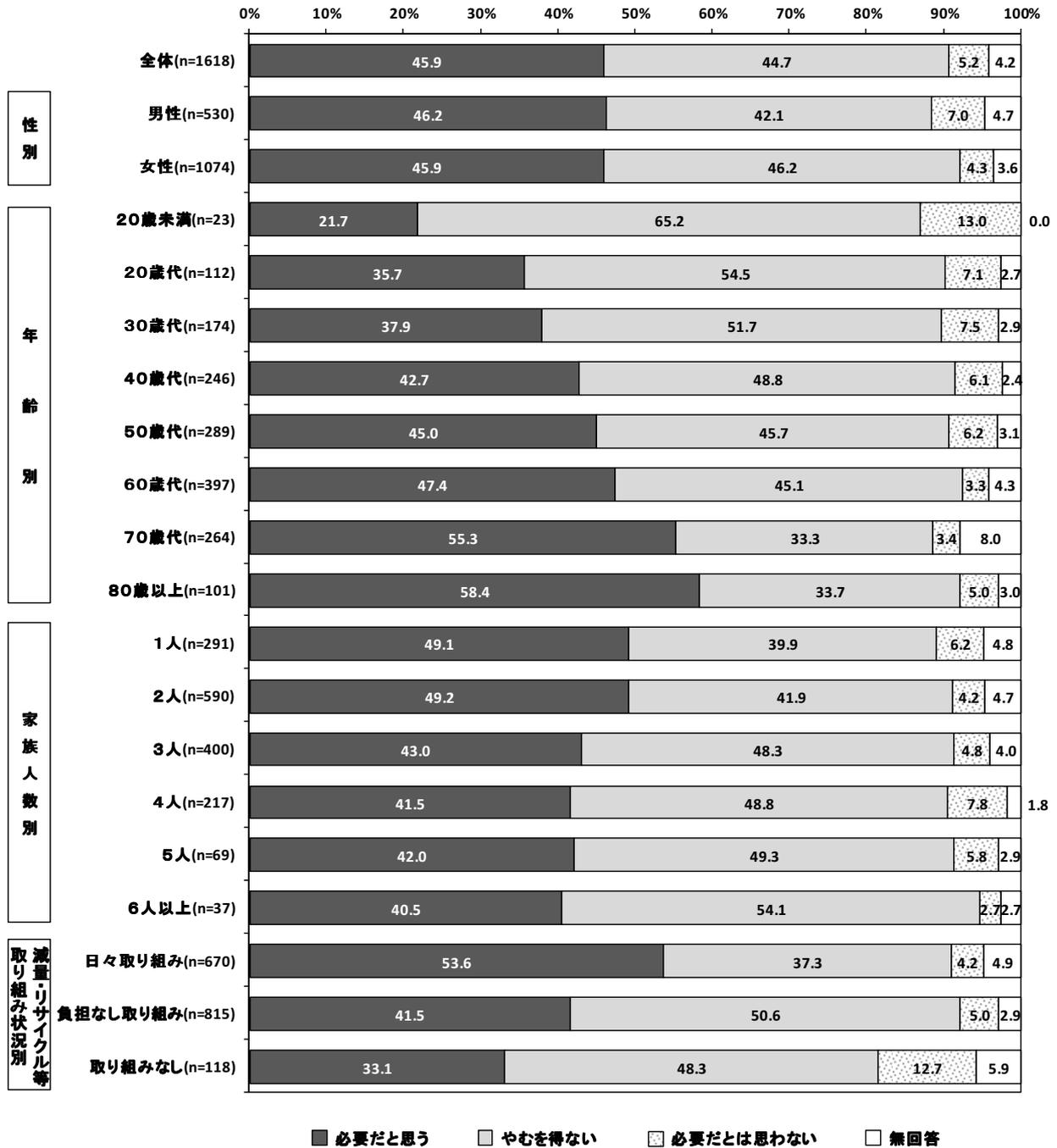
【属性別特徴】

- 年齢別にみると、年齢が高いほど「必要だと思う」という積極的支持が多く、年齢が低いほど「やむを得ない」という消極的支持が多くなっています。

問 17 家庭ごみ有料化制度は、ごみ処理に係る費用負担の公平性を確保することと、家庭ごみの減量・リサイクルの推進を目的として実施しましたが、この制度の必要性についてどう思いますか。（〇はひとつ）



問17 家庭ごみ有料化制度は、ごみ処理に係る費用負担の公平性を確保することと、家庭ごみの減量・リサイクルの推進を目的として実施しましたが、この制度の必要性についてどう思いますか。(〇はひとつ)



参考資料

参考 1 大分市と他都市の「燃やせるごみ」の袋の価格（10枚入り）

	45 ℓ	30 ℓ	20 ℓ	10 ℓ	5 ℓ
大分市	315 円	210 円	140 円	70 円	35 円
中核市 (平均)	495 円	330 円	220 円	110 円	55 円
九州管内中核市 (平均)	374 円	249 円	166 円	83 円	42 円
県内 12 市 (平均)	284 円	189 円	126 円	63 円	32 円

参考 2 自治会が管理しているごみステーションへの設置等補助事業（H26 年 4 月から実施）

補助対象事業	補助率	限度額	申請の条件
ごみステーションの設置	3分の2	100,000 円	年間に申請できるごみステーションの設置及び改修等の総件数は、申請時において自治会の管理するごみステーションの数の2分の1以内の数とし、2分の1が1に満たない場合は1とする。
ごみステーションの改修等	3分の2	40,000 円	
被せネットまたはシートの購入	—	3,500 円	年間に申請できる被せネットまたはシートの数は、申請時に自治会の管理するごみステーションの数の3分の1以内の数とし、3分の1が1に満たない場合は1とする。

参考 3 自治会が管理するごみステーション用被せネット等支給事業（H27 年 5 月から実施）

支給品	サイズ	申請の条件
被せネット	3 m × 4 m	年間に申請できる被せネットまたはシートの数は、申請時に自治会の管理するごみステーションの数の3分の1以内の数とし、3分の1が1に満たない場合は1とする。

参考 4 クリーン推進員報償金（H12 年 4 月から実施）

一人一月あたり 1,000 円を支給

参考 5 クリーン推進員校区連絡会議の活動経費の助成（H26 年 4 月から実施）

校区連絡会議を構成するクリーン推進員の人数に、1,000 円を乗じた額を上限に校区連絡会議に対し助成。

参考 6 生ごみ処理機器の購入補助金（H13 年 4 月から実施、H26 年 4 月増額）

電動式	補助率：購入金額の2分の1	上限額：30,000 円
非電動式	補助率：購入金額の2分の1	上限額：15,000 円

参考7 有価物集団回収事業報償金(H13年4月から実施、H26年4月 紙・布類の回収に係る報償金を増額及び物品の支給を開始、H29年4月 対象品目にスチール缶・アルミ缶を追加)

活動に係る報償金	事業を実施した月数に3,000円を乗じた額
紙・布類の回収	回収量1キログラムにつき5円
廃食用油の回収	回収量1リットルにつき10円
スチール缶・アルミ缶の回収	回収量1キログラムにつき5円
活動物品の貸与・支給	リヤカー・ブルーシート

参考8 大分市廃棄物処理施設整備基金積立額(家庭ごみ有料化によって得られた手数料収入から指定ごみ袋の作製費等の必要経費を除いた概ね2分の1を積み立て)

平成27年度実績	7千3百万円
平成28年度予算	1億3千4百万円
平成29年度予算	9千5百万円